

第 9 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和6年 8 月 8 日

臨 時 会

令和6年第9回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和6年8月8日
招集の場所 越谷市中央市民会館4階 第15～18会議室
開閉会日時 開会8月8日 午前 9時30分
閉会8月8日 午後 5時37分
(昼食休憩 午後0時20分～午後1時20分)

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職 務 代 理 者	野 口 久 男
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平
委 員	東 宏 行	委 員	足 立 夢 実

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	小 泉 隆 行	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副 参 事 兼 教育総務課長	會 田 修	指 導 課 長	千 嶋 淳 一
		教育センター 所 長	菊 池 邦 隆
		指導課調整幹	二 瓶 剛

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 調 整 幹	鈴 木 理 香
----------------	---------

	議 事	て ん 末
議 事 状 況	議 案	
	・第37号議案 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について	採択

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより 8 月の臨時教育委員会会議を開会いたします。

本臨時会に関し、15 名の方から傍聴許可願が提出されておりますので許可いたします。また、会議中に許可願が提出された場合は、同様に許可いたします。

〔傍聴人入室〕

(午前 9 時 30 分)

◎第 37 号議案 「令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について」

吉田教育長 それでは、7 月 25 日に行われた 7 月定例教育委員会会議において継続審議となっており、第 37 号議案「令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について」審議いたします。

今回の令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について、改めて指導課長から説明をお願いします。

指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第 37 号議案 令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の 1 ページをお開きください。

第 37 号議案 令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について。

令和 7 年度使用中学校教科用図書を別紙のとおり採択するものとする。

令和 6 年 7 月 25 日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、中学校教科用図書の採択替えに伴い、令和 7 年度使用中学校教科用図書を採択する必要があるため、提案するものでございます。

越谷市立小中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号及び越谷市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第 3 条の規定により、本市教育委員会で行うこととなっております。

恐れ入りますが、3 ページをお開きください。今年度採択する中学校教科用図書は、採択一覧表でお示ししましたとおり 17 種目でございます。今回、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同法施行令第 15 条の規定に基づき、教科用図書の採択が 4 年を経過することから実施するものでございます。

なお、採択された教科用図書につきましては、令和 7 年度から 4 年間の使用となります。

採択の手順につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書採択事務要領に基づき行います。

はじめに、越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員より選定資料に基づく報告を行い、続いて教育長及び教育委員の皆様からの質疑にお答えいたします。その後、教育長及び教育委員

の皆様でご協議いただいた後、採択をお願いいたします。

なお、会議要項5ページに中学校教科用図書発行者番号等を掲載しておりますので、ご参照いただければと存じます。

第37号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 審議に入ります前に、委員の皆様にお諮りをいたします。

採択の方法ですが、種目ごとに全部の教科用図書発行者について、私及び委員がそれぞれ5段階で評価した上で順次無記名で投票し、評価点数の総合計が最も高い教科用図書発行者を採択することにしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

ここで、傍聴人の方にお知らせいたします。傍聴の心得にあるように、議案の進行を妨げるような言動はお控えいただきますようお願いいたします。静粛な会議の進行にご協力をお願いいたします。

社会・地理的分野の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員 主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善が求められています。そのため、教科用図書について次の4点を特に注意深く見ました。1点目、1時間の流れ、章や節などの単元での流れ、2点目、社会的な見方、考え方を働かせる工夫、3点目、さらに課題を追求したり解決したりする活動の工夫、4点目、有益、適切な資料、以上となります。ここでは4総括を中心に説明します。

はじめに、東京書籍です。8、9ページ「導入の活動」で、どのような工夫がされて、それが本文やまとめにどのようにつながっているのかを確認します。第1編「世界と日本の地域構成」では、写真資料、領土問題での竹島、尖閣諸島に触れています。9ページ「クイズカードをつくらう」で「導入の活動」が始まり、右下に「探究課題」が示されています。この大単元は2つの章から構成されており、10ページに新しい「学習課題」、つまり先ほどの「探究課題」を解決するための「学習課題」の一つが掲げられています。8、9ページに戻りますが、様々な箇所には小学校で習った言葉を示しており、小中の連携、接続を意識していることが分かります。これは、どの教科書会社も工夫されています。25ページ右下の「D」に、他教科と関連する資料があることが示されています。20、21ページは、「まとめの活動」です。先ほどの導入の活動に対しての内容となっています。今まで学習してきたことを基に、「見方・考え方」を働かせてまとめていきます。子どもの作品が提示されていることが、より分かりやすくしています。このカードづくりの他に

思考ツールを生かしながらまとめができるようになっていきます。例えば33ページにベン図、75ページにマトリックス表など、多数掲載されています。

続いて、教育出版です。43ページが導入部分で、学習の見通しが表になって分かりやすく配置されています。地球的課題についても、どこの学習で取り上げているのかが明確に記載されています。60ページ「学習のまとめと表現」では、学習内容が身についたかを確認しながら進めていきます。学習の振り返りを3つのステップに沿って段階的に学習成果を整理し、学習を深めていけるよう配慮されています。59ページの下に関連マークがあり、この内容がそれぞれの分野とどのようにつながっているのかが、しっかりと分かるようになっていきます。巻頭の1、2ページは、小中の連携が、小学校での学習を振り返りながら、これからの中学校でどのように学んでいくのかが、分かりやすく示されています。地球的課題とSDGsとして、世界の諸地域において17の目標の何と関係しているのか目標マークを掲載し、持続可能な視点を意識しながら学習が深めていけるよう配慮されています。

続いて、帝国書院です。64、65ページでは大きく鮮やかな写真を掲載し、地域の姿を実感でき、関心、意欲を高め、見通しを持って意欲的に学びに向かえるよう配慮されています。66ページ右上には2節を貫く問いが設けられ、この問いが継続できるよう68ページの左にも掲載されています。また、68、69ページの見開きに、章や節の問いに対する「学習課題」、69ページ右下に「学習課題」に対応した「確認しよう」、「説明しよう」が配慮され、学習の見通し・振り返り活動の基本的な流れが示されています。68ページ下には小学校や各分野との関連が示されています。78、79ページは単元の振り返りです。学習した知識、技能を白地図で確認し、思考ツールを用いながら学習事項を整理し、対話を通して考えを深めていく流れになっています。巻頭ページで、SDGsの17の目標とその実現に向けた取組を紹介し、学習全体を通して持続可能な社会の実現を意識づけられるよう配慮されています。

最後に、日本文教出版です。51ページでは、44ページからの「持続可能な地域を目指して」までの学習を踏まえて、既習の知識と新しい資料を組み合わせる問いを導き出すようにしています。見通しを持った学習ができるよう配慮されています。52ページにあるように、「学習課題」に対する「見方・考え方」が示され、53ページ右下の「確認」、「表現」で1時間の学習を振り返ることができるようになっています。60ページは、単元で学習した内容について地図やキーワードに沿って確認して知識を整理するとともに、知識を定着できるようにしています。61ページでは思考ツールでの提案を基に自分の考えをまとめるようにしています。さらに、グループで学び合いながら深い学びができるよう配慮されています。

吉田教育長 これより審議に入ります。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員としてどの教科書を推薦するのかご説明願います。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍63点、17番、教育出版35点、46番、帝国書院52点、116番、日本文教出版33点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、63点の東京書籍、52点の帝国書院、35点の教育出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

鈴木選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、教科書にある地図や資料の読み取りや活用について、その技能を身につける工夫があるかということ。

2点目は、防災教育など今日的な課題について、各社がどのように扱っているか、ということが出ています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にはございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか、また、その主な理由についてお教えてください。

鈴木選定委員 学校からの推薦では、東京書籍を推薦する学校が最も多く14票、次いで帝国書院が6票という結果でした。

推薦理由といたしましては、東京書籍では、導入資料が大きく生徒の関心を引きやすい。大きな地図を活用しながら、その地域の特色に関する課題が立てられる工夫がされている。

帝国書院では、系統的で分かりやすい。資料が豊富で、比較する際に利用できる図表が多いなどの意見がございました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 地理では世界の様々な地域について学ぶと思います。多様性や異なる文化について知り、国際理解を図るための工夫は見られますでしょうか。

鈴木選定委員 東京書籍は、50、51ページに伝統的な生活文化、52、53ページに宗教、248、249ページに我が国の伝統行事と生活文化を取り上げて、我が国の伝統文化への理解を深めるとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるようにしています。

教育出版は、26から41ページに、世界の多様な文化、宗教などの事例が豊富に取り上げられています。また、250ページから253ページには、我が国の特色ある伝統文化を取り上げて、我が国への愛着を深められる学習内容となっています。

帝国書院は、26から41ページで、異文化理解を深めるための自然環境を人々の暮らしと関連づけています。また、50ページでは、各州において日本とは異なる人々の生活や文化の特色を学習できるようにしています。

日本文教出版は、28から41ページで、異文化理解を深めるための自然環境を人々の暮らしと関連づけています。また、124ページ以降では、多様性の尊重として多様な人々が共生している事例を取り上げています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 選定委員には、1号委員ということで保護者の方がいらっしゃると思いますけれども、保護者の方からはどのような意見が出たのか教えてください。

原田選定委員長 1号委員の方からは、知識を身につけるだけでなくアウトプットする機会があるといいということ、また日本のよいところについて地理で触れるような工夫が見られるといいという意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

東委員 何か具体的にそれぞれの教科書についての意見はあったのでしょうか。

原田選定委員長 それぞれの教科書についてのコメントはございませんでした。全体的なものとしてご意見がありました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。なお、これらは相互に関連していますので、必ずしも内容のみにこだわることはなく、ほかの観点からのご質問も同時にお願いしたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 学ぶべき内容が構造化されていて、流れに沿って理解できるよう工夫されていたと思い

ます。東京書籍は「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「チェック&トライ」という流れになっていましたし、帝国書院は写真で眺める自然環境、歴史文化、産業など「学習を振り返ろう」という順番で構成されていて、これは内容の理解を助けてくれるものだと思いますし、よくできていると考えました。

吉田教育長 ただいまのご意見等についてでも構いませんが、他にございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 どの教科書もとても写真がきれいであるということと、図表がとても見やすく、図表のタイトルも的確に表現されていてよいなと思いました。子どもたちは実際にまだ見たことがない国が世界にたくさんあるので、その意味ではとても興味をそそられると思いました。

特によいなと思いましたのは、帝国書院の28、29ページですが、地域、熱帯、乾燥帯、温帯、寒帯でそれぞれの写真があり、右に雨温図が掲載されていて分かりやすいと思いました。

日本文教出版は26、27ページですけれども、クイズという形で出していて、ここから人々の生活や環境、どのような特色があるか子どもたちに考えさせるというところが、子どもたちの興味関心が広がり、さらに29ページに気候別の写真があり、比較する形で見ることもできて分かりやすいと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

なければ、私からですが、地理的分野では資料等から様々な地理的情報、それを読み取る技能を身につけることが求められると思います。例えば東京書籍の5ページ「スキルアップ」ですが、数にしてかなり挙げられているのですけれども、この「スキルアップ」で繰り返し学習ができるようにしています。20ページは世界地図の略図なのですけれども、意外と地図を書くとなると書けないので、このとおり書くのではなく略図的なものが書けるので、私は多用した覚えがあるのです。32ページに日本列島の略図の書き方について掲載されているわけですが、これらは大陸や海洋の分布を知るだけではなくて、ここに山とか川とか平野の地理的情報を書き入れるなどして基礎的な知識の定着を図ることもできるなと思いました。

小学校との関連については選定委員会の説明がありましたので省きますが、思考力、判断力、表現力の育成という点ですけれども、地理的分野では地理的な事象の意味、あるいは特色などを空間的な広がりや自然環境との相互依存関係、空間的な相互依存作用、地域などに着目して地理的な物の見方、考え方を働かせ、多面的、多角的に思考判断、表現できる力を養うことが求められています。そこで、世界の諸地域の学習について、東京書籍60ページから143ページでは、アジア州からオセアニア州まで州ごとに、節の初めに、アジア州では63ページ下に「経済成長」とあるように、ヨーロッパ州では81ページ下に、EUとの関係だと思いますが、「統合」とあるように、さらに南アメリカ州の121ページはアマゾン流域の話だと思いますが、「環境保全」とあるように、各種の特色を踏まえた節を貫く「探究課題」となっています。

以前は、例えば人民公社、コルホーズ、ソフホーズなどを覚えたと思うのですが、それらはなくなってみると今は必要ないという話になり、では何を勉強するのだという、このような特色を踏まえて見ていく必要があるということで取り上げるようになっていきます。特色を踏まえた節を貫く「探究課題」、そして単位ごとにその「探究課題」を追求するための段階的な「学習課題」は、それぞれの会社で工夫されていると思います。

地域的、空間的な相互作用、空間的な広がりや自然環境との相互依存関係などに着目して地理的な物の見方、考え方を進めていく学習を進めやすくしたいと思います。日本の諸地域の学習については、東京書籍183ページから268ページに、九州地方から北海道地方まで、183ページ下にあるように、章の初めに、地方ごとに学習指導要領に示された自然環境、人口、資源エネルギーと産業、交通通信の各事項を、それぞれ注目する視点として取り上げています。九州地方では187ページ下に自然環境と人間との関係の変化とあるように、現在は台湾との関係において半導体の工場ができるなど変化が激しいので、なかなか追いついていないところもあるかと思うのですが、自然環境と人間関係の変化、それから中国・四国地方では、199ページ下に交通通信網の変化があるように、各地方の地形や気候を学習した後に各地方の注目する視点を踏まえた節を貫く「探究課題」、そして世界の諸地域での学習と同様、1単位時間ごとにその「探究課題」を追求するための段階的な「学習課題」を設定し、空間的な広がりや自然環境との相互依存関係、空間的な相互依存作用、地域などに着目して地理的な物の見方、考え方を深めていく、学習を進めやすくしていくということだと思います。これらについては、報告書に見られる、資料が豊富であり見やすく整理されている、単元を通した活動が構造化されていて分かりやすい、あるいは生徒の思考を助ける工夫があるなどのコメントにつながっていると思われます。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、次の観点2から4については、まとめて協議をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

何かございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 資料、表記・表現等についてですけれども、東京書籍は巻頭に「5つのミカタ」を設けています。それによって地理的な見方、考え方を意識して学習できるような導入をされていると思います。

帝国書院は本文の右下に「確認しよう」、「説明しよう」があって、自分なりに判断、表現する問いが設けられていて、「説明しよう」によって言語活動を繰り返すことができるように工夫されていると思います。そういった点が優れた点だと思いました。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 帝国書院の237ページに、春日部市にある首都圏外郭放水路が載っていて、非常に親しみが持てるなと思ったのです。この他には載っていないのかなと思いましたが、東京書籍の地図帳には載っていて、やはり親しみを持つ意味ではいいのかなと思いましたが。現場の意見をみますと、東京書籍は資料が適切だ、写真資料の選択がしやすいのではないかなどと出ていて、情報量も適切であるということで、使いやすいのかなと思いましたが。全体を通して、学びがしっかり身につけられるような工夫もしてありますし、昔の学習指導とは大分変わってきているなということは、この教科書を見ているとよく分かりました。

吉田教育長 ただいまの意見についてでも構いませんけれども、他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 先ほども意見が出ていましたけれども、4社とも写真が本当によくできていて、特に表紙でわくわくするような写真が載っていて、体裁はどれもよくできているなと思いましたが。

2つ目に、先ほど1号委員から知識を身につけるだけではなくて、アウトプットする機会があるとよいという説明がありましたが、今の学び方に沿っていて、アクティブラーニングとか主体的で対話的な深い学びとか、そういった部分で保護者の方も関心があるのだなと思いましたが。その視点でもみたのですが、4社とも学習の振り返りやまとめのコーナーは大変工夫してよくできていて、知識だけではなくてアクティブに学ぶ工夫がされているなと思いましたが。その中で、東京書籍は「探究課題」で単純に振り返ってまとめるだけではなくて、資料の読み取りとか探究のヒントとかが出ていて、使いやすいそうだと確かに思いました。選定委員会で得点が高かったというのなるほどと納得する部分がありました。

3つ目に、SDGsについて4社とも扱っていて、これはどの教科書もしっかりその部分を埋め込んでいるなど、現代的な課題もしっかり入れている、各社とも評価できるなと思いましたが。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 東委員と同じ意見なのですが、4社とも学習のまとめが非常によくできていると思っていて、特に学習のまとめ、例えば、教育出版60、61ページ、帝国書院62、63ページ、東京書籍74、75ページ、日本文教出版60、61ページをみますと、教育出版、帝国書院、東京書籍は、何ページを見なさいと書いてあるので、子どもたちがこれはどうだったかなと思ったときに、すぐにそこを振り返ることができるなと感じました。日本文教出版は、自分の考えたことを、その理由というところに赤字で「例えば」ということで書き込んであるのです。これがあると子どもたちは自分でもまとめやすいなと思いましたが。また、東京書籍の75ページ「みんなでチャレンジ」も学習のまとめに入っていて、まずグループで活動、それから個人で「考えてみよう」という形で、これはとてもよいなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔なし〕と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより社会・地理的分野の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、野口委員、東委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	30点
17番	教育出版	18点
46番	帝国書院	23点
116番	日本文教出版	18点

以上のとおり、社会・地理的分野の教科用図書は、2番、東京書籍を採択することに決しました。

次に、社会・歴史的分野の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員 1単位時間がどのように扱われ、「探究課題」があり、最終的にどのようにまとめていくのかという学習の進め方、併せて資料などがどのように扱われているのかをしっかりと見ていきます。

はじめに、東京書籍です。8、9ページ「歴史へのとびら」は、ぱっと見ただけで子どもたち

はわくわくすると思います。内容は小学校の学習の振り返りです。歴史の最初から最近までの流れが一つ一つイラストで描かれている方法で表現されています。小学校で学習した人物や文化財ごとに振り返る活動を設け、中学校での歴史学習にスムーズに導入できるよう配慮されています。章の最初、65ページ上にその時代や年代について「歴史へのとびら」で学習したイラストを使って分かりやすく年表で示されています。また、これから学ぶ11世紀から16世紀までの日本の様子の資料が並べられています。さらに、65ページ右下にはこの章の「探究課題」が示されています。94から97ページ「確かめよう」では、単元で学んだ知識を資料や思考ツールで確認し、「ふり返ろう」で節の問いを解決していきます。そして、96ページ「深めよう」で思考ツールなどを用いて考えを整理し、「探究課題」の解決につなげていきます。思考ツールについては、96ページにXチャート、60ページ等にはウェビングなど様々な方法で取り組めるようにしています。

続いて、教育出版です。2、3ページは、年表の読み解きや時代区分といった小学校の学習を振り返りつつ、これから学ぶ歴史全体を体感することができるようにしています。4ページから6ページ「歴史ゲームで遊ぼう」で、小学校での学習や教科書の未習事項を用いながら楽しく歴史学習ができるよう配慮されています。8ページ「歴史にアプローチ」のコーナーは、小学校での学習の進め方や見方、考え方を踏まえ、中学校の歴史での学習の進め方につなげるための内容となっており、生徒が歴史的な見方、考え方を意識的に使いこなせるよう何度でも振り返ることができるようにしています。62ページに「学習課題」があり、63ページに「確認!」、「表現!」の項目があり、生徒の主体的な学習を促しています。92ページから94ページでは章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて基礎、基本の確実な定着を促しています。また、自ら考察し、集団で表現し合う活動を位置づけ、学習した知識や思考の過程を再確認できるようにしています。

続いて、帝国書院です。26、27ページ「タイムトラベル」では、その時代の社会の様子を絵画や写真などの歴史的資料に基づいて描き、イラストで時代のイメージを視覚的に捉えられるようにしています。そして、「次の場面を探してみよう!」では、その時代の重要な場面を確認しながら自然と本文や目標に結びつけられるようにしています。また、索引グリッドとして地図上の索引記号のように記号を使って位置を確認できるようにしています。章の最初、63ページに「章の問い」、「節の問い」があり、66ページから各見開きに「節の問い」に対応した「学習課題」を設置しています。102、103ページ「学習を振り返ろう」では、年表を用いながら章の問いに対する考えをまとめていきます。103ページ「タイムトラベル」と思考ツールを用いた対話を通して、章の問いに対する自分の考えを深めていきます。104ページでは、これまでの考察を踏まえて、どのような特色のある時代だったかを、根拠を持ってまとめています。中段には「これからの社会を構想しよう」の項目があり、公民的分野の学習につなげています。

続いて、山川出版社です。70、71ページ、見開きの冒頭に学習課題を設定し、黄色枠の発問、

最後の「ステップアップ」など主体的、対話的で深い学びを促し、考える力がつけられるよう配慮されています。186ページの上段に民撰議院設立建白書があるように、高等学校でも学習する資料を豊富に掲載しています。152、153ページがまとめのページになります。その時代全体を俯瞰して考えさせていくよう配慮されています。205ページのように「地域からのアプローチ」として、地域を通した歴史学習を紹介しています。

続いて、日本文教出版です。6、7ページに小学校で学んだ主な人物や文化遺産などを掲載し、104ページ左下「どんな学習をするのかな？」で小学校の既習内容を確認し、この時代で何ができるようになればよいかを説明しています。そして、「トライ」で見方、考え方を着目させながら学ぶ時代をイメージしていきます。このように小学校とのつながりを大切にしながら学習を進めています。152、153ページはまとめとふり返りとなっています。年表と地図と連携を図り、知識を定着させていきます。そして、153ページにあるように各節の問いを確認し、編の問いに答えていきます。幾つかのステップを設け、段階的に学習できるよう配慮されています。

続いて、自由社です。19ページは、これから学習する時代を小学校で学んだ人物を中心に紹介しています。20ページには「学習課題」を設定し、24、25ページにある「もっと知りたいコラム」のようなコラムが豊富にあり、より詳しく学びたいという意欲を高めています。64ページからは、調べ学習のページで修学旅行とリンクさせています。66ページでは復習問題として1問1答形式で知識を確認し、67、68ページでは、問題を解きながらまた対話とまとめ図を見ながら時代の特徴がつかめていけるようにしています。

続いて、育鵬社です。14、15ページは序章で、小学校で学習した歴史上の人物42人の似顔絵を活用しています。構成としては、「課題をつかむ」、「課題を調べる」、「課題をまとめる・表現する」といった問題解決型の学習となっています。「課題をつかむ」では、96、97ページでの「鳥の目」で歴史の流れを体感し、98、99ページの「虫の目」でその時代の人々の生活について掲載され、時代への関心を高められるようにしています。「課題を調べる」では、100、101ページに見開き学習として1時間ごとに「課題と確認」、「探究」が掲載されています。学習のまとめでは、144、145ページにあるように年表で整理し、資料の読み取りなどを通して多面的、多角的に時代像をまとめられるよう配慮されています。

続いて、学び舎です。36、37ページにあるように、各章の扉のページには北極を中心とする世界地図や、その時代の各地の様子を資料等で示しています。96ページの見出し「村に入ってきた秀吉」などは、生徒の関心をくすぐる記載となっています。そして、特色ある図版と技術化、生徒の疑問や問いを引き出し、主体的な学習ができるようにしています。104、105ページでの章を振り返るでは、年表や地図の活用を図り、多面的、多角的に考える、話し合う活動を進めていけるよう配慮されています。

最後に、令和書籍です。ページ数が約500ページとなっており、学習内容が充実しています。6

ページには世界各国の王朝年表がついており、世界の歴史と日本の歴史の関係が分かるような構成をしています。19ページからは「古事記」や「日本書紀」の内容を多く取り上げ、8、9ページに歴代天皇の皇位継承図や巻末の日本美術図鑑として豊富な資料を掲載し、我が国の歴史に対する愛情を深められるよう配慮されています。115ページからのまとめ学習では、表にまとめ、自分の言葉で特色をまとめていけるよう配慮されています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答を求めます。

足立委員。

足立委員 選定委員として、どの教科書を推薦するのでしょうか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告書や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が9種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍64点、17番、教育出版41点、46番、帝国書院53点、81番、山川出版社32点、116番、日本文教出版34点、225番、自由社21点、227番、育鵬社27点、229番、学び舎24点、236番、令和書籍19点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、64点の東京書籍、53点の帝国書院、41点の教育出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選定委員会ではどのような話題が出たのでしょうか。

鈴木選定委員 大きく2点挙げられました。

1点目は、現代の生活や未来へのつながりについて、各社で工夫が見られるかということ。

2点目は、身近な地域の文化遺産や歴史について学ぶことができる工夫がされているか、ということが出ていました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか、また、その主な理由について教えていただきたいと思います。

鈴木選定委員 学校からの推薦では、東京書籍を推薦する学校が最も多く15票、次いで帝国書院が4票、教育出版が1票という結果でした。

推薦理由としましては、東京書籍では、各単元に単元を貫く課題を設定し、生徒が見通しを持

った学習ができるように工夫されている。単元の導入、まとめの活動が充実している。

帝国書院では、重要語句に対してより詳しく記載されている。資料が豊富で見やすい。

教育出版社では、タイトルが興味を引きつけるものである等の意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 歴史は、それぞれの時代の特徴をつかんだり、流れを大まかに捉えたりすることが求められると思うのですが、その工夫について、それぞれの出版社で特徴があれば教えていただければと思います。

鈴木選定委員 それぞれに工夫されています。

東京書籍は、8ページに「歴史へのとびら」、11ページに年表の読み取り、12ページに歴史の流れの捉え方、14ページに時代の特徴の捉え方等の説明があります。

教育出版は、2、3ページに年表、8、9ページに「歴史にアプローチ」として「見方・考え方を読み解きながら」という説明があります。

帝国書院は、巻頭の8ページに「歴史的な見方・考え方」の説明があり、26、27ページにある先ほど説明させていただいた「タイムトラベル」で体感ができる工夫をしています。

山川出版社は、14、15ページ年表に、日本と世界と写真を併せて掲載しているのが特徴だと思います。

日本文教出版は、6、7ページに歴史人物等の年表、20、21ページに年表と地図を併せて掲載しています。

自由社は、19ページに資料と年表の作品があります。

育鵬社は、14ページ「歴史の流れと先人の活躍」、24、25ページ「鳥の目」で、時代の流れをつかむよう工夫されています。

学び舎は、10、11ページにおいて、左に年表、「世界とのつながり」が示されており、最後の282ページから大きな年表が掲載されています。

令和書籍は、6、7ページに先ほど説明させていただいた世界各国王朝の略年表、18ページに時代年表が掲載されています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会には1号委員として保護者の方がいらっしゃいますが、どのような意見が出たか教えていただきたいです。

原田選定委員長 1号委員の方からは、世界史と日本史が一目で見られる資料や関連が分かりやす

くまとまっている資料があると、より理解が深まるのではないかというご意見が出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある、4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。関連があれば別の観点も含めても構いません。

山口委員。

山口委員 歴史の流れを理解するという工夫についてですけれども、まず帝国書院では「タイムトラベル」を設け、歴史の流れが分かるようになっていることが優れていると思いました。育鵬社の「鳥の目」では大まかな流れをつかみ、「虫の目」で細かく見ていくという編集の仕方は、分かりやすいと思いました。

また、探究を深めるという意味で、思考ツールの活用として、東京書籍ではXチャート等のツールが導入されていて、これらが活用しやすくなっているのは優れていることだと思いました。

吉田教育長 関連するご質問でもご意見でもよろしいのですけれども、ございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 小学校から中学校へ上がったばかりの子どもたちは、この歴史の量、教科書の厚さにびっくりすると思うのです。そういう意味では小学校から中学校への接続は大切だと思います。東京書籍は各単元がうまくつながっていて、とてもよいと思いました。

次に学習のまとめを比較してみたのですけれども、帝国書院102、103ページ、日本文教出版102、103ページ、山川出版100、101ページ、東京書籍94、95ページを見ていただきたいと思います。歴史ですので、年表で時代をいつ頃何があったとおさえていくこと、その時代、時代の特徴をつかんでいくことが大切だと思うのです。そういう意味ですと、山川出版の学習のまとめは、とても大切な考え方でいいなと思いました。

日本文教出版もそれぞれの時代の特徴をまとめ、さらに比較をする形でまとめることができ、子どもたちに分かりやすいと思いました。

帝国書院も、古代はどうだったか、中世、鎌倉時代、室町時代はどうだったかということで、子どもたちが自分なりにまとめることができ、とても有効だと感じた次第です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

なければ、私からですが、歴史分野においても知識、技能として資料からこの情報を読み取る力が求められているわけですが、東京書籍37ページの右上「スキルアップ」は、文献資料の読み

取り方が丁寧に示されています。同様に43ページの上「スキルアップ」は、系図の読み取り方が書いてあるのです。これはあまり見慣れないと思うので、系図の読み取り方についても丁寧に示されています。年表については各社が工夫されているので、説明等にもありましたのであえて申し上げます。

次に、思考力、判断力、表現力の育成について見てみると、歴史的分野では歴史的な事象の意味、先ほど来出していた特色、これを時期や年代、移り変わりに着目して歴史的な物の見方、考え方を働かせて多面的、多角的、これが大事だと思うのですが、多面的、多角的に、思考判断、表現できる力を養うことが求められているわけです。例えば東京書籍146ページから164ページ「日本の近代化」はページ順で学習するのですが、特に152ページ資料1の右上「アメリカが獲得した領土の年代」と、158ページ資料1のペリーの上陸から歴史的な時期や地理的広がりに着目して、地理と歴史とを両方並行して学習していくのです。その強みを生かして歴史的、地理的な物の見方、考え方を使ってペリーの来航、あるいは産業革命、アメリカの開発の歴史、日本とアメリカの国力の違い、和親条約、不平等条約の締結などの歴史事象を関連づけていくことによって、時代の流れをよりダイナミックに読み取ることができるようになっていきます。

帝国書院も同じような流れになっているのです。巻頭8ページの右下に、「歴史的な見方・考え方を働かせて『ペリーの来航』を見てみよう」とあるのですが、惜しいなと思ったのが、同じようにアメリカの東から西への発達してきた経緯を地図で表しているのですけれども、地理的な物の見方をここに挟んでいただけるとよかったかと思います。ここでは歴史的な物の見方を取り上げて、ペリーの来航を見ているという例が載せてあります。

また、歴史分野では先ほど、いきなり分厚い歴史の教科書が出てくると戸惑うのではないかという話がありましたけれども、実はあれもこれもとついつい教え過ぎてしまいがちになることが多いわけですが、東京書籍は、章の初めに「研究課題」、節ごとに「探究課題」を追求するための段階的な課題が明示されています。これに沿って授業を組み立てていくことによって、知識に偏り過ぎないように基本的な事項を厳選することも可能になると考えています。例えば、99ページの下、第4章「近世日本の社会の変化」、これを「探究課題」として設定して、さらに112ページの左下、第4章第2節「江戸幕府はなぜ260年も続いたのか」を段階的な形として設け、まずはその支配の仕組みはどうだったのかを見ていくことを「学習課題」としています。そして、166ページの左下、第5章第3節「なぜ日本で他に先駆けて近代化が進んだのか」を考えさせる段階的課題が設定しており、日本が抱えている内包的な矛盾、一部の国との交易、あるいは第1次産業に頼らざるを得ない仕組み、こういう中で、しかしながら江戸時代においては、その他の産業が発展していくといった内包的な矛盾を克服し、むしろそれをばねとして近代化を成し遂げたという流れにつなげていく、非常にうまいなと思いました。そのようなことが、報告書にも見られるように、学びが積み重ねやすい、図や表が適切に配置されている、学習見通しが分かりやすくなって

いる、資料が充実しているなどのコメントにつながっているものと思われます。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、次の資料、観点2から4について、まとめてご協議いただきたいと思います。

ご意見等はございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 歴史は学ぶべきことが多くて、教科書もどうしても大きくて厚くなりがちなのですけれども、ページ数を増やすとか減らすとかを各社で考えるかと思うのですけれども、帝国書院は少しページ数を増やした一方で、東京書籍は少し減らしたという話があったと思います。教育長が言われたように、知識をたくさん教えるということよりも、考え方を身につけるという方法にもっていけるようにと思います。また、そういった点は評価すべきかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 資料についてですけれども、例えば教育出版246ページから243ページに「戦争の記憶をつなぐ」という資料が載っていました。この辺も充実しているなと思いましたし、また東京書籍238ページに、広島の場合ですけれども、被ばく建物の保存と継承を載せていますので、充実しているなと思いました。

また、学び舎の教科書全体を見ると、当時の人々の暮らしがよく分かるような内容がとても多くて、資料としてはいいなと思いました。ただ、現場の声を聞くと、東京書籍の例えば「単元を貫く探究課題」、「章を貫く探究課題」についてなど、節の探究のステップ、各時間の課題、まとめの活動についても「確かめよう」、「振り返ろう」、「深めよう」で非常にステップがはっきりしていて、この辺りがきつと現場では定着したのかなと思いました。

吉田教育長 関連してでも構いませんが、他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 私は、質問させていただいた歴史の流れを大きくつかむというところで、比較してみました。東京書籍は、アニメーション、イラスト等を使っているのですが、中学生にとってはこういうほうがつかみやすいものなのではないでしょうか。山川出版がそれぞれの時代の流れを年表として分かりやすくしていて、しかも現物の写真で流れをつくってあるので、流れ的には山川出版の方が分かりやすいかなと思ったのですが、その辺イラストを使った流れの捉え方というのは、実際現場で中学生たちはどんな感じで受け止めているのか、もし分かれば教えていただければなと思うのですが。

吉田教育長 小学校だと人物を中心に歴史を学びますので、そういうどこかにペリーの漫画の絵と

写真の絵とを見比べているところがありましたけれども、どうなのでしょう。

鈴木選定委員 小学校の東京書籍もこの絵になっていますので、生徒たちは親しみやすく導入できるかなというところがございます。また、この絵がそのまま単元等でも使われていますので、そういった工夫で東京書籍、あるいはどの会社も使っていましたが、そういった工夫は子どもにとってなじみのある冊子になっているのかと思います。

吉田教育長 東委員。

東委員 小学校との連続性で、イラストで中学も流れをつかんでいくというようですね、分かりました。そのような特徴が、それぞれのまとめのところ、先ほどの地理と同様に、東京書籍は深めるところはすごく工夫されていると思いましたし、このまとめはどの教科書もしっかり入っているので、学びやすい部分があると思いました。

帝国書院は、母性保護論争などを取り上げて、一部分をかなり深めながら問題意識を涵養するような工夫がされています。迷うなと思いました。だから、選定委員会で東京書籍と帝国書院の得票が入っていたというのは、理解できるなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 小学校からの連続性といいますと、東京書籍は単元構成、学習課題の流れもしっかりしていると思うのです。教育出版も単元のつなぎ方がしっかりしていて、例えば162ページは、まず必ずページのところに年表が入っています。そしてテーマがあり、学習課題をととても見やすく黄色で表現していて、隣のページの終わりに「表現してみよう」があつて、これをどう捉えるかという形です。そういう意味ではしっかりと毎回の単元構成ができているなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより歴史の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、足立委員、山口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価の合計を読み上げます。

2 番	東京書籍	3 0 点
1 7 番	教育出版	2 2 点
4 6 番	帝国書院	2 6 点
8 1 番	山川出版社	1 9 点
1 1 6 番	日本文教出版	1 9 点
2 2 5 番	自由社	1 4 点
2 2 7 番	育鵬社	1 6 点
2 2 9 番	学び舎	1 7 点
2 3 6 番	令和書籍	1 3 点

以上のとおり、社会・歴史的分野の教科用図書は、2 番、東京書籍を採択することに決しました。

次に、社会・公民的分野の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員 はじめに、東京書籍です。129ページをご覧ください。冒頭に小学校の振り返りとしてどのようにつながっているのかが分かるようにしています。また、各資料に「地理」、「歴史」のマークがあり、地理、歴史の教科書に掲載した資料となっています。130、131ページが導入です。右に単元を貫く探究課題の設定場面を会話形式で提示しています。152、153ページにあるように学習課題が設定され、本文や資料、下にある「チェック&トライ」、インデックスやQRコードなど、どの紙面においても定位置に配置されています。176ページから179ページは学習のまとめとなっており、段階的に取り組むことで単元を貫く探究課題の解決ができるよう改良されています。また、思考を整理する様々なツールがあり、より多様な活動ができるようにしています。

次に、教育出版です。40ページは章の学習を見通す導入です。漫画やイラストを多用し、資料の読み解きや活動を通じて学習への興味関心を高められるようにしています。90、91ページでは、

1時間の学習を見通せる写真等を導入し、学習課題に取り組めるようにしています。本時の振り返りとして、91ページ右下の「確認」、「表現」を学習しながらまとめられるようにしています。本文の下には小学校との関連、SDGsとの関連についても掲載されています。126ページから128ページは学習のまとめです。「ホップ」、「ステップ」、「ジャンプ」として段階的にまとめられるよう配慮されています。70ページは特設ページとして、学習内容と関連を図りながら今日的な課題をテーマとし、協働しながら多面的、多角的に考察し、表現する活動ができるようにしています。

次に、帝国書院です。30、31ページは「学習の前に」という導入で、学習テーマに関する日常生活のイラストを掲載し、社会の様々な場面を概観する活動を通して興味関心を持って学習に取り組めるよう配慮されています。32ページをご覧ください。章、節の問いを受けた学習課題を各見開きに設置し、見通し、振り返り学習ができるよう配慮されています。33ページの下では、「確認しよう」で知識の定着、「説明しよう」で思考力、判断力、表現力の育成につなげています。70ページから72ページでは、学習を振り返る内容となっています。70ページは学習した知識技能を図や表を用いて確認し、71ページは「学習の前に」を振り返ったり、思考ツールを用いた学習事項の整理と対話を通じたりして章の問いに対する自らの考えをまとめていけるようにしています。133ページにある「アクティブ公民」では、社会参画を疑似体験できる学習が行えるよう工夫されています。

次に、日本文教出版です。6、7ページは各章の導入ページで、生徒たちが主役になった漫画により関心を高め、身近な場面から章の学習内容に関する問いの考え、そして章の問いを立てる流れとなっています。また、立てた問いの答えを予想することを通して、その後の学習の見通しを持つことができるようになっています。8、9ページです。1時間の授業を見開き2ページとし、学習課題、見方、考え方で明確に示しています。9ページ下には「確認」、「表現」のコーナーがあり、章や節の問いに答えるための手がかりとなれるよう工夫されています。22、23ページは、まとめ、振り返りのページです。知識の確認の後、章の問いに答える活動に進んでいきます。ポートフォリオを用いて学習を振り返ることで学びの自己調整ができるよう配慮されています。218ページ「チャレンジ公民」では、現在社会に見られる課題を、160、161ページ「明日に向かって」では、社会参画を促すページを掲載しています。

次に、自由社です。25ページ右下「ここがポイント！」のコーナーを設け、授業で押さえるべき確認事項を示しています。40、41ページ「アクティブに深めよう」では歴史的な文化の背景や社会の仕組みについて考察し、個人と社会の関わりを中心に学習を理解できるよう工夫しています。36ページのように、体育館の使用問題など身近な学校での事例を掲載し、公正に判断する際の視点が示され、思考力、判断力等の育成ができるようにしています。

最後に、育鵬社です。38、39ページの導入には「入り口」という言葉で統一されています。章の学習を貫く問いを意識しながら、学習の見通しを持つことができるようにしています。40、41ペ

ージでは、1時間の授業を見開きで掲載し、節の課題、本時の学習課題を明確にしています。課題を解決するために「確認」、「探究」というコーナーを活用できるよう配慮されています。74ページから76ページはまとめ、表現する内容です。学習内容を生かして互いに意見を出し合い、見方、考え方を広げられるようにしています。大切な学習内容を、問題を解きながら再確認できるようにしています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

東委員。

東委員 選定委員としてどの教科書を推薦するのか教えてください。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が6種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍63点、17番、教育出版39点、46番、帝国書院52点、116番、日本文教出版38点、225番、自由社24点、227番、育鵬社27点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、63点の東京書籍、52点の帝国書院、39点の教育出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございませんか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員会ではどのような話題が出たのでしょうか、教えてください。

鈴木選定委員 大きく2つの話題が出ました。

1点目は、成人年齢の引下げに伴い、主権者教育がより一層大切である。教科書でどのように取り上げられているか。

2点目は、地理や歴史といったほかの分野との関連性は意識されているのか。

この2点でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか、その理由を教えてください。

鈴木選定委員 学校からの推薦では、東京書籍を推薦する学校が最も多く15票、次いで帝国書院が5票という結果でした。

理由としましては、東京書籍では、単元の導入や展開で思考力、判断力、表現力等を伸ばす工夫がある、活動的な学習が多く設定されている。

帝国書院では、系統的で分かりやすい、図表が多く数字を使って示しやすいので、生徒も分かりやすい、などの意見がございました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選挙年齢と成年年齢が引下げとなり18歳となりました。中学生のうちから主権者として意識を高めていくことが重要だと思います。公民的分野では主権者教育の中核を担う学習だと思いますが、どのような取扱いがされていますか。

鈴木選定委員 各社とも取扱いがあります。東京書籍は、例えば60、61ページで18歳、二十歳でできること、90、91ページで選挙の流れ、138、139ページで契約と支払い方法といった内容が示されています。

教育出版は、90、91ページで「18歳選挙権と私たち」という項目で取り上げています。

帝国書院は、84、128、154ページで「18歳への準備」、「民主政治」、「契約」、「金融」といった主権者教育に関連する項目が示されています。

日本文教出版は、86、91、110、184ページで「投票の仕方」、「政治参加」、「裁判員裁判」、「社会保障」について掲載をしています。

自由社は、90、110ページに選挙制度と政治参加、裁判員裁判について掲載をしています。

育鵬社は、78、88、104ページに「政治の入り口」、「新聞の社説」、「裁判員」について掲載をしています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員にいる1号委員の保護者の方からは、どのような意見が出ましたでしょうか。

原田選定委員長 1号委員の方からは、近年、中高生で起業する生徒も増えてきている。将来の自立ということを考えると、職業について考えられるような工夫があるといいのではないかと、という意見が出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 成人年齢引下げについて、取り上げ方は各社それぞれなのですが、社会的な人間と、生物的な人間という成人の考えがあると思うのです。東京書籍の取り上げ方として、飲酒など、そういった生物的な意味での二十歳という成年の考え方は残しつつ、60、61ページに漫画で書いてあるのですけれども、社会参画としての成人ということで18歳になっているという、こういったところを明確にしていることは成人年齢の引下げが決まって、そのことをどう受け止めていいかという理解の助けになると思うので、この点はいいい取り上げ方だなと思いました。

吉田教育長 ただいまの意見に関してでもよいかと思いますが、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

なければ、私からですが、公民的分野では、取り上げられる社会事象を日常と関連づけながら具体的事例を通して、それらについての理解を深め、多面的、多角的に考え、表現できるようにすることが求められているわけですが、成人あるいは経済などについては、子どもたちには少し縁の薄いところもあって、なかなか捉えにくいところがあるのかなと思っています。日常の生活と関連づけながら社会事象、政治経済等に関わることとして捉えさせて、相互に関連づけて考えるという、まさに公民的な物の見方、考え方、これを働かせて深めていくこと、これが大事になってくるわけです。そのことを教科書の記述に沿って見ていくと、例えば東京書籍では、6、7ページにあるように、日常のまちの様子などから、7ページ右下の「持続可能な社会の実現に向けて、私たちには何が求められているのでしょうか。」を単元で追求する「研究課題」として設定し、同ページ右上に課題解決する手助けとなる問いを各節ごとに分けています。具体的事例を通して言えば、27ページから31ページ、社会との関わりを部活動でのトラブルを解決するという設定で権利、責任、義務、決まりをつくる方法、効率や構成、そして評価と見直しについて学ぶ中で、32ページ第1章「学習をまとめよう」で、これらを政治、経済、法などに関わることとして捉えさせつつ、公民的な物の見方、考え方を働かせて持続可能な社会の実現について考えを深めていけるようにしています。日常との関わりということで、各社ともいろいろな工夫をしているわけですが、どういうふうに捉えさせたほうが子どもたちにとって分かりやすいかと見ていくといいのかなと思います。

同様に、152ページから155ページの経済ですが、景気の価格の決まり方や変動を見ていくと、消費と生産に関わる需要量と供給量の関係で均衡価格が決まる、そのようなことを今のような言葉で示すと、景気の価格を買いいたい量と売りたい量との関係で見ていくという設定で、この中で独占価格、独禁法、公正取引委員会、公共料金、これらを学習していく中で、経済活動に関わることとして捉えつつ、公民的な物の見方、考え方を働かせ、市場経済の仕組みについて考えを深めていけるようにしています。

ほかの会社でも思考ツールを取り上げているのですけれども、特に東京書籍は、9、39、71、72ページでウェビングやマトリックス、ステップチャート、トータルミン図式、フィッシュボーン図などがあり、つい比べてしまうのです。そういった思考ツールを使って考えられるよう工夫されていると思います。こうしたことについては、報告書に見られますが、社会的事象の意味、これをより生活時間から理解できるように工夫されている、あるいは様々なデータが見やすく構成されている、社会科の見方、考え方を身につけやすくなるようその工夫がされているなどのコメントにつながっていると思います。

他にありますでしょうか。よろしいでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 どの教科書もしっかりと1時間の単元構成ができていたと思います。まず、「今日学ぶことは」という学習の課題があって、それから「アクティブ」で子どもたちに活動させて、最後「確認」という形になっていると思います。東京書籍も同じようになっておりました。

教育出版、帝国書院、日本文教出版の3社を見ますと、ほかとの違いとしまして、まず「学習の課題」が提示されて、そしてその時々で「アクティブ」、「アクティブ活動」というのがありまして、最後にその見開きのページ「確認」が入っているのです。例えば直接税と間接税の違いということが入っていて、さらに「表現」もこの3社は入ってまして、1時間で生徒が何を学習したかというのがチェックできていいなと感じました。

吉田教育長 ただいまのご意見についてでも構いませんが、他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、観点2から4についてはまとめてお伺いをいたします。

ご意見等はございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 公民分野は、ほかの社会科の分野も当然そうではあるのですけれども、現状を分析する、そのための思考をどういうふうにしていくかという思考ツールというのが非常に大事な分野だと思います。そういった意味では、東京書籍は、先ほど今教育長がおっしゃったことと重なるのですけれども、思考ツールが本当にメインコンテンツのように大きく出ていて、それぞれウェビングにしてもそれを積極的に使って思考の仕方をみんなで学んでいけるような工夫がされているように思います。

また、教育出版は、冒頭の10、11ページにいろいろなチャートが提示してあり、最初にこういうのがあるということを示すことは、とても大事なかなと思いました。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 各社とも少子高齢化、国際化、グローバル化という言い方をしているので

すが、情報化、現代的課題について丁寧に扱っているという印象を持ちました。資料として、例えば東京書籍の８、９ページ「導入の段階」を見ますと、中学生の活動を最初に紹介しているということ、これは自分の同年代の活動を紹介して、社会の一員としての自覚を高める効果があるなと思いました。また、自分たちと社会のつながりを最初に公民の中から意識させるということでは、大変効果的なのかなと感じました。

吉田教育長 他にはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、以上といたします。

これより社会・公民的分野の教科用図書に関わる採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び５名の委員の５段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、渡辺委員、野口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

２番	東京書籍	３０点
１７番	教育出版	２４点
４６番	帝国書院	２６点
１１６番	日本文教出版	２１点
２２５番	自由社	１６点

227番 育鵬社 16点

以上のとおり、社会・公民的分野の教科用図書は、2番、東京書籍を採択することに決しました。

次に、地図の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

鈴木選定委員 地図については2社ということもあり、同じ観点を示しながら説明させていただきます。

日本の領土について、東京書籍171、172ページ、帝国書院197、198ページをご覧ください。東京書籍では、領土問題を抱えている島々について写真や説明を交えて掲載しています。帝国書院は、写真と地図を併用して示しています。

次に、地図帳の使い方については、東京書籍4ページから、帝国書院も4ページからをお開きください。東京書籍では、6ページにありますように、主題図を大きく取り上げて説明しており、帝国書院では、6ページで、主題図とともに鳥瞰図を併用して掲載しています。東京書籍7ページでは、デジタルコンテンツを活用できるよう説明を詳しく掲載されています。帝国書院では、地図の見方、読図について詳しく掲載しています。

次に、文化については、東京書籍では、15、16、137ページで世界の生活文化を取り上げ、帝国書院では、19から22ページで衣食住を中心に取り上げています。

次に、両社とも8ページにSDGsについての特集を組んでいます。東京書籍は、13ページにありますように上の部分にSDGsマークがあり、どのような環境問題があるのか、どのような対策が行われているのかを考えさせています。帝国書院は、9ページから14ページで様々な課題に対し地図から考えさせるようにしており、各資料にもマークがあります。

次に、統計資料については、両社とも日本の環境、資源、エネルギー問題や人口について扱うページが設けられています。東京書籍は131ページ以降、帝国書院は155ページ以降に多くの資料が掲載され、課題追求などの活動に際して効果的に活用できるものとなっています。

最後に、ヨーロッパ州を通して説明させていただきます。東京書籍35、36ページ、帝国書院51、52ページです。東京書籍は35ページ左上に工程表が、帝国書院は52ページ右下に工程表があり、日本の位置を示しているところが特色になっています。また、色彩も両社に違いが見られます。ヨーロッパ州の資料については、東京書籍39ページ「国々の結びつきの変化」、40ページ「ヨーロッパ在留の難民・亡命者」、「1人当たりのGDPの変化」等が詳細に掲載されています。帝国書院では、53、54ページ「言語と宗教」、55、56ページ「農業関連について」、「電気関連について」、57、58ページ「宗教」、「農業」、「気温」について詳細に示されています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。ご質問等ございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員としてどの教科書を推薦しますか。

原田選定委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見などを参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果でございますが、2番、東京書籍49点、46番、帝国書院62点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、62点の帝国書院、49点の東京書籍を推薦いたします。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員会が出た話題はどのようなものがありましたでしょうか。

鈴木選定委員 大きく2つの話題が出ました。

1点目は、地図帳は視覚的な資料であり、見やすさや調べやすさが大切であること。

2点目は、地図等の資料の読み取りの技能を向上させ、資料活用能力を高めていくことの工夫について、各社考慮されているかということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか、その理由についても教えていただければと思います。

鈴木選定委員 学校からの推薦では、帝国書院を推薦する学校が最も多く15票、次いで東京書籍が4票という結果でした。

推薦理由としましては、帝国書院では、図や表が充実しており地図帳の構図が見やすい、地図以外の資料も豊富である。

東京書籍では、地図帳が活用できる問いがある、サイズや情報量が適切であるなどの意見がございました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 先ほどの説明にもあったかもしれませんが、地図資料の記載方法や

内容について、2つの会社で違いはあるのでしょうか。

鈴木選定委員 先ほどの説明以外にもございました。例えば東京書籍では「Bee's eye」、蜂の目というマークで地図帳を活用するヒントが問いかかけられ、それを考えることによりその地域について考えていけるようになっていきます。また、QRコンテンツも豊富に取り上げられており、それを活用しながら考えなどを深めていけるようになっていきます。

帝国書院では、地域の特色をつかめられるように鳥瞰表現の地図が掲載されています。また、歴史や修学旅行にもタイアップした地図を掲載しており、地理学習以外の歴史学習でも活用できるようにしています。また、主体的に学習を取り組めるよう「旧地図で発見」コーナーを設けています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選定委員会には1号委員として保護者がいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

原田選定委員長 1号委員の方からは、地図帳と地理の教科書はどのようにリンクさせて使っていけばよいのかということ、また、ページ数に大きな差があるのだけれども、内容に違いがあるのかというご意見が出ました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容について、他の観点と関連してもよろしいかと思いますが、ご意見等がございますか。

山口委員。

山口委員 まず、地図を読めるということが大事で、読めるようになれば自分でそこからどんどん活用できると思うのですが、そういった意味では凡例の扱い、大きさなどが大事かと思うのです。帝国書院は凡例だけで1ページとか4ページを使っているのですが、東京書籍は少し小さめで、「索引の使い方を身につけよう」といろいろなことをまとめている感じで、見やすさ的には帝国書院のほうが見やすいのかなと思いました。

地図本体ですけれども、先ほど選定委員会に説明いただいたヨーロッパ州に例えてですけれども、色合いも全然違って、帝国書院は昔ながらの色合いですけれども、東京書籍は自然な感じで違うということと、帝国書院では日本の同緯度が出てくるというのは、広さなどをイメージしやすいのかなと思いました。それらが違うところかなと思います。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 山口委員と重なるところが多いのですけれども、帝国書院の色使いがとてもきれいで分かりやすいという印象を受けました。例えば先ほどご説明いただいたヨーロッパ州、帝国書院53ページを見ますと、人口密度、言語、宗教のことがきちんときれいに配置がされていて、とても見やすいなと感じました。

東京書籍でおもしろいなと思ったのは40ページですけれども、ヨーロッパ在留の難民・亡命者の割合というのが入っていて、なかなかおもしろい視点で入っているなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

なければ、私からですが、同じようなことになってしまうのですが、東京書籍50ページの中ほどと帝国書院66ページの中ほど、ロッキー山脈のところに断面図が書かれています。比べると、帝国書院では鳥瞰図と併せて見させることによってより分かりやすくなっていると思います。同じような取り上げ方をしているので、どっちをとということになると見させ方ということになるのだと思うのです。

併せて、帝国書院65、66ページ下に同縮尺の地図が載せてあるのですが、「植生と土地利用」、「気温と降水量」、「民族、人口密度」、これらを示していますけれども、さらに66ページ経度100度に注目して、「気温と降水量」がきれいに分かれています。67ページのジの上の地図、これは北アメリカの農業分布ですけれども、この100度に注目してみると分かれていることが見やすさかなと思うのです。どうしてかという、アメリカでは適地適作、より適したところで適した気候のところで作物を作っているということが、これによって考察しやすいのかなと思いました。

一方、東京書籍32ページと帝国書院44ページのドバイのところに注目して、同じドバイの見せ方は変化という観点で見た場合は、東京書籍のほうが分かりやすいかなと思いました。

学習指導上求められている「身につける知識・技能」という観点では、帝国書院では10ページ右下、79ページ、63、64ページに見られるように、「地図で発見！」は63、64ページとに分かれるのです。かなり多くの数こういうものが示されています。「地図で発見！」が多く位置づけられており、問いに答えるという形で地形図や次第図の読図、これを学習できるよう工夫がされていると思いました。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、観点2から4についてはまとめてお伺いいたしたいと思いますが、何かご意見等ございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 思考力ということに地図で少し考えました。国と国があれば、どうしてもそこである種

の紛争等が出てくると思うのですけれども、最後のページの日本の抱えている領土問題についてどう扱うかでは、東京書籍は写真つきでそういったものも提示して、生徒に考える機会を与えています。また、ヨーロッパの難民・亡命者ですけれども、国家と国家の間で帰結として生じる問題だと思うのです。このようなことについては静的、動的という考え方もあると思うのですけれども、少し動的な問題も地図を通して考えさせるという東京書籍の考え方というのはあってもいいのかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 全体のページ数からすると、例えば東京書籍は176ページ、帝国書院は198ページと、最近教科書が大分厚くなってきて重くなってきているので、東京書籍のほうが生徒の負担を考えるといいのかなと思うところもあるのですけれども、ただ現場の声を聞くと、資料が豊富で帝国書院のほうがいいのではないかという声が多いように感じました。

先ほど説明にもありましたけれども、修学旅行などの関連では、例えば帝国書院の113ページ、奈良市中心部が出ていますのですけれども、これは帝国書院の特徴でもあるかもしれませんが、詳しく奈良市のことも書かれていて、斑鳩町、明日香村についても分けて書かれていて、修学旅行にはいいのかなと思いました。また、昔の様子を表すことも、帝国書院では例えば118ページ、五街道の宿場町も載せてあって、将来的に地図帳をずっと保管して一生使う場合があるかと思うのですけれども、そのようなことにも役立つのかなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 全体を見て、帝国書院は資料等が充実しているのは確かだと思います。ただ、GIGAスクール構想が進んでいて、地図などは端末で見るということは授業でやらないのだろうかと思いました。それでその視点で少し探したのですが、東京書籍は「My Globe」で、衛星写真で世界中、日本の細かいところまで見えるのです。Googleマップみたいな形になっていて、しかもGoogleマップも紹介されています。帝国書院は一切なくて、衛星写真を開いたのですが、細かいところまでなくて、全体図として日本全土ぐらいしか出ていないのです。あまり衛星写真などは、今、中学校ではあまり扱わないのですか。使うのか使わないのかという部分を少し含めて、私の読み取りが少し悪いかもしれないのですが、もしかしたら帝国書院もそういう衛星で全部見られるようなコンテンツがあるのでしょうか。

吉田教育長 選定委員は必ずしも中学校の教員ではないので、小学校の校長先生であったりします。

東委員 では、選定委員会で衛星写真等のデジタルコンテンツは、話題になったか教えていただければと思います。

鈴木選定委員 デジタルコンテンツにつきましては、衛星写真も含めて統計資料等、地図の活用等

も帝国書院、東京書籍共に掲載されています。話題になったかについては、QRコンテンツもありますが、それほど話題には上りませんでした。

吉田教育長 私が過去に教えた経験上からすると、そのとき当然Googleマップはなかったわけですが、やはり読図、地図を見てそこから読み取るということをやるためには、地図帳から入るほうが子どもたちにとっては分かりやすいかなと思います。少し近視眼的になるといけませんので、全体を見てというところには、全体から局所的にフォーカスできるようにはなっていますけれども、まずは地図を見て、読図をできるようにして、そういう技術を身につけてからGoogleマップを使うほうがより分かりやすいかと思います。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 他にないようですので、これより地図の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、東委員、足立委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	25点
----	------	-----

46番	帝国書院	30点
-----	------	-----

以上のとおり、地図の教科用図書は、46番、帝国書院を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 それでは、ここで昼休憩といたします。

次の外国語については、午後 1 時 20 分から再開することといたします。

休憩 午後 0 時 20 分

再開 午後 1 時 20 分

◎開議の宣告

吉田教育長 それでは、休憩前に引き続き会議を始めます。

次に、外国語の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

原田選定委員 英語の教科書につきましては、Unit、Lesson、Program、Scene など名称は異なっていますが、どの教科書も章単元の中は幾つかの段階に分けて一定の手順で学習できるように設定されています。また、教科書の目次ページの大体次のところに、このように「学習の流れをイメージしよう」や「教科書の構成」というページがあり、どの教科書も 1 年間の学習の流れが生徒にも指導者にもよく分かり、見通しが持てるよう工夫されています。さらに、写真や資料、補助カードなどはどの教科書も豊富で、視覚的に学習意欲を高める工夫が多岐にわたり見られます。

それでは、言語である英語の特性から、内容の思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫と小学校からの子どもの学びの広がりを意識させる工夫を中心に、各 1 年生の教科書で説明いたします。

はじめに、東京書籍です。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として、各 Stage に「Stage Activity」が設定されており、ここでは Unit で身につけた知識技能や本文を用いた学習が展開されています。自分のことについて話したり書いたりする表現力を身につけられるように内容が一貫していて分かりやすくなっています。例として、54 ページの「Stage Activity」をご覧ください。まず、画像で状況等を確認します。そして、マッピングを使って思考を深める工夫がされています。書き上げた作品を友達と読み合い感想を伝え合うといった活動です。この活動はコミュニケーションを図ろうとする態度を養う工夫でもあると言えます。

また、子どもの学びの広がりを意識させる工夫として、2 ページから 53 ページに「Unit 0」から「Unit 4」が小学校で学習してきた単語や表現が中心の内容となっていて、無理のない学習を展開させた後、先ほどの「Stage Activity」につなげています。これが特徴です。

次に、開隆堂です。思考力、判断力、表現力等を育成するために、各ProgramのSceneでは、想像するという活動から、次のコミュニケーション活動につなげ、展開をイメージしやすいように工夫しています。複数の単元の後にある「Our Project」では、さらに自分の考えを深めることができるように発表が設定されています。例として、46ページから49ページの「Our Project」をご覧ください。スピーチの手順、マッピング、書き込みから発表までが4ページにわたってじっくり学べるように工夫されています。スピーチ力の向上に特化したもので、これは93ページ、136ページ「Our Project」でも同じ型で学習活動をするように構成されています。

また、子どもの学びの広がりを意識させる工夫として、7ページから20ページの「Get Ready」で、小学校の学びを振り返りながら中学校の学習内容につなげる工夫があります。20ページの「Get Ready番外編」では、各活動への準備確認もあります。

次に、三省堂です。思考力、判断力、表現力等を育成するために、各Lesson「Goal Activity」では、自分の考えや気持ちを整理して書いたり、相手に伝えるように工夫して発行したりする活動が設定されています。例として64ページ「Project」をご覧ください。ここではペアやグループでアイデアを考え、話し合い、発表するといった想像力を働かせて既習事項を活用する活動が設定されています。

また、子どもの学びの広がりを意識させる工夫として、7ページから24ページに「Starter」や「サイコロトーク」があり、小学校の学びを振り返りながらコミュニケーション活動を進めることができるよう工夫されています。

次に、教育出版です。思考力、判断力、表現力等を育成するために、「Project」ではペアやグループで課題解決に取り組み、発表する設定となっています。協働の学びを通して、自分の考えをより深めて表現できるよう工夫されています。例として70ページ「Project」は、「Goal」を示し、手順を追って取り組むことで誰もがよりよい発表に到達できるよう工夫されています。

また、子どもの学びの広がりを意識させる工夫として、4ページから17ページの「Classroom English」、「Springboard」では小学校での学習内容を振り返りながら、その後の「Lesson」での発展した学習内容につなげる工夫があります。

次に、光村図書です。思考力、判断力、表現力等を育成するために、Unitの最後にある「Goal」では、学習した内容を総合的に活用しています。目的、場面、状況の設定を明確にし、練習しながらオリジナルの作成、発表に取り組む手順があります。さらに、「You can do it!」では考えを深めてアイデアを広げる活動があり、発表の設定も工夫がされています。例として98、99ページの「You can do it!」をご覧ください。ここでは場面設定が動画作成という生徒の身近なものになっています。マッピングを活用しながら構成を考え、台本を作成するといった思考表現の発展的な活動となっています。

また、子どもの学びの広がりを意識させる工夫としては、6ページから23ページの「Let's be

friends」があり、小学校で学習した単語や表現を確認しながら音と文字の関連性につなげる工夫がされています。

次に、啓林館です。思考力、判断力、表現力等を育成するために、幾つかのUnitで学んだ後に「Project」が設定されています。ここではUnitで学んだことを生かしながら総合的な活動を行う中で情報を整理しながら表現する力を伸ばす工夫がされています。例として52ページ「Project」をご覧ください。スピーチを行うために原稿の作成と発表する際の型に分けて工程を示しています。スピーチを行う上での必要な準備と取り組む工夫を伝えています。

また、子どもの学びの広がりを意識させる工夫としては、4ページから10ページ「Let's Start」、ここで小学校の学びを振り返りながら、その後の単元で表現や声を活用できるようにつなげています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

山口委員。

山口委員 選定委員としてどの教科書を推薦しますか。

石塚選定副委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が6種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票しました。65点が満点となります。その結果ですが、2番、東京書籍47点、9番、開隆堂57点、15番、三省堂57点、17番、教育出版34点、38番、光村図書37点、61番、啓林館34点でした。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、57点で同点の開隆堂、三省堂、47点の東京書籍を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

原田選定委員 選定委員会では、英語科において即興で話をするということが求められていること、各社の英語でのやりとりの工夫があるかという話題が出ました。ペアでのやり取りなど各社において工夫が見られるということがありました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 学校の調査報告書ではどの教科書の推薦が多かったのかということと、またその主な由について教えてください。

原田選定委員 学校からの推薦では、三省堂を推薦する学校が最も多く7票、続いて開隆堂5票、

東京書籍、教育出版、光村図書、啓林館が2票という結果でした。

推薦理由としましては、三省堂では本文が今どきの内容、話題となっていて、生徒により親しみやすいものになっていた。各単元のパートの内容が長過ぎず、生徒が読むことに抵抗感を感じにくい。

開隆堂では、言語活動の後に本文を扱っていて、生徒によい。難易度が生徒にちょうどよく、単語等が分かりやすくまとめられていて見やすい。

東京書籍では、ただ訳す授業ではなく、ディスカッションなどがしやすい、表現活動が充実しており、伝える力を鍛えられる。

教育出版では、過去形等の表現したいことが1年生の1学期にいろいろ出てくる、教科書のサイズ感がちょうどいい。

光村図書では、ポイントが分かりやすく指導しやすい。単元の構成が分かりやすい。

啓林館では、見やすく、それぞれの活動が分かりやすい、巻末の付録が充実していて表現力が鍛えられるなどの意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 説明の中でも少し触れられてはいたのですが、小学校との円滑な接続という点で、各社に何か特徴があればさらに教えていただければと思います。

原田選定委員 どの教科書も巻頭に、「小学校ではこういうふうに習ってきましたね」あるいは「こういうところから入っていきますよ」という心構えの部分があり、そこから「中学校ではこうやって勉強していきますよ」というような文言等が続きます。例えば東京書籍は、表紙を開くと「小学校で学んだことを生かしてもっと英語でコミュニケーションしましょう」から、先ほど説明をいたしました「Unit 0」へつながっていくというところがあります。これは、どの教科書会社も同じように小学校からの接続の部分を大切にしたい表記の仕方が感じられます。また、本文中に小学校で聞いたことがある単語などについては、小学校でこれはやっていますよという表記の仕方がどこの教科書にも存在しているところが接続ということでは大変工夫されていると感じました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 どの教科でも聞いているのですけれども、選定委員会では1号委員として保護者がいらっしゃいますけれども、どのような意見が出たでしょうか。

石塚選定副委員長 各社における扱う単語数の違いがあるのか、またリスニングの力を高める上で工夫が見られるか、という意見が出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 もう一点、よろしいですか。選定委員会での推薦などは三省堂と開隆堂が同じ点数、現場では三省堂が一番多いということでしたが、悩ましい部分もあるかと思うのです。

もし小学校と中学校で教科書が替わった場合、単語の扱いについては、先ほど小学校からの接続の話も同じ会社だからですけれども、その辺の課題のようなものがありますか。

原田選定委員 替わったことによる課題はないと捉えています。小学校での英語では耳から入る単語が幾つであるということであって、書くということに直結はしていないからです。中学校の教科書に出ている、小学校でこれはやっていますよという単語が出ていることであって、そういった単語も含めて中学校の教科書でもう一回おさらいをしながら進めるという状況になっていますので、総括としてその単語の違いで小学校と中学校の接続に不具合が出るということはないと英語科の教員は捉えています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 幾つかQRコードをみたのですが、光村図書は自分の発音を確認できる録音や再生機能がついていたのですけれども、これはほかの教科書も全部見ていないと分からないのですが、ほかの教科書にもこういう録音再生機能はあるのでしょうか。

原田選定委員 調べたところ、三省堂、教育出版にもございます。ただ、録音して再生する学習は、越谷市の場合はタブレット学習で、自分たちで録音して先生たちに送って学習するというのもう行っているものですから、録音機能がついているというところが重要かどうかはまた別の観点かと捉えますが、今のご質問にお答えするとすれば、三省堂と教育出版の中ではその部分があることを確認いたしました。ほかのところについては、もしかしたらあるのかもしれないのですけれども、全部見切れていない部分がございます。

東委員 分かりました。意図としては、授業のときだけではなくて、復習や家庭で自分で勉強するときに使いやすいものはどれかなと思ったので、そういう機能があるとより使いやすいなと思った次第です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上とします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

東委員。

東委員 選定委員会で2つの教科書が同点なので、私も非常に迷いながらいろいろ見てみたのです。最終的に、内容面で4技能5領域ということをしっかり網羅して学習できるかどうかというところが、ポイントかなと思ったのです。開隆堂と啓林館はどちらかというと文法をベースにしながらProgram、Lessonを組んで、流れをつくっている印象が非常に強かったのです。東京書籍と三省堂は、文法というよりはむしろスピーチとかコミュニケーションのところから入っていく感じになっていて、特に東京書籍は動画から入って学んでいくということで、これはどっちがいいのかなというのは、微妙だなと思うのです。現場の先生からは三省堂の点数が高かったのですが、今、学習指導要領が大きく変わって、従来の文法型というよりは4技能5領域ということを経合的に学んでいくという意味では、私はそちらに重心を置いた教科書のほうがいいのかと率直に思いました。

ただ、どの教科書も、教育出版や光村図書もそうですが、Goalというのをしっかり設定してあります。光村図書は、自宅で学習するなど授業以外のところで使うのも使い勝手がよさそうな感じがしたので、それぞれ一長一短、メリット・デメリットという特徴があるなと率直な感想です。4技能5領域を経合的に学ぶという意味で、もし何か特徴的なものというのが選定委員会の中で議論されていたらご紹介いただけるとありがたいですけれど。例えば、段階的にやっていく必要があるとか、経合的にやっていく必要があるとかといったような視点の議論というのは、もしあったら構いません。

原田選定委員 議論に対しては選定委員会の中ではございませんでした。調査部会から出ている内容を基に選定委員会のメンバーが判断するという中で、全部の教科書が4技能5領域のところは全部網羅しながら教科書がすすめられているということが確認されたので、それ以上の議論というのはございませんでした。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 展示会のアンケートには、英語に関する記載のところで、「New Crownはやめていただきたい。内容が難しすぎる」とあり、何が難しいのかなと思ったら現在完了形を2年で学ぶというところは考えられない、というようなことが書いてあったのです。確かにほかの教科書を見ますと、現在完了形を2年生で扱っているのはNew Crownだけだったのですけれども、この点について何かございますか。

吉田教育長 協議の中でそういう話があったかどうかということをお願いします。

原田選定委員 文法事項については、調査部会の報告書を基に選定委員会が協議した中で、特にそれに触れるということとはございませんでした。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 これまでの議論を聞いていて思ったのですけれども、開隆堂のいいところと三省堂のいいところということで、報告書をもう一回見させてもらったのですけれども、例えば開隆堂については、現場の声からするとCAN—DOリストが最後に載っていて、これが使いやすいというようなことで書かれていました。巻末にまとめて載せてあり、活用しやすいという意見もあるのだなと思いました。また、開隆堂については、言語活動の後、本文への流れがいいということもありました。そういうところが、きっと現場としてはいいところなのだなと思いました。

三省堂については、個人的には例えば2年生でもそうですけれども、最初のコンテンツ、目次を見ていただけるとLessonと基本文とがうまく網羅されていて、非常に見やすいなという印象を受けました。「Language Focus 1」とありますけれども、その内容についてはどこのLessonで勉強したかということが一目で分かるようになっていて、まとまりもいいのかと感じました。また、三省堂は会話の内容が増えたという意見がありましたので、その辺も改善されてきているという感じを受けました。確かに現在完了形が中2の最後のほうで扱っていたり、あるいは中3の最初でも少し扱ったりしていて、その辺りで少しカバーしているのかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

なければ、私からですが、外国語科にあつては、東委員からご指摘ありましたけれども、音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する知識を4技能5領域、聞く、読む、話す、書くで4技能ですけれども、話すは2つに分かれていて、発表でやり取りということで4技能5領域にわたっていて、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけることが求められています。コミュニケーションに力を入れているというところがこれで分かるのですけれども、三省堂では1年生68ページの下に「Exercise」があつて、ここでは聞く、「listen」を通して基本文などを確認します。次に、69ページにある本文を今度は読むことを通して、ストーリーの要点を把握する力を身につけます。71ページの下「Think about yourself」で、話す、これは発表と同時に書くこともやるのでしょうかね、このことを通して書いて話すということなののでしょうか。自己表現ができるよう工夫されています。ほかのLessonでも同じような流れになっているという解釈でよろしいかと思うのですけれども、話すやり取りについては、25ページのLessonの冒頭の下にある「Small Talk」や73ページの単元末の上にある「Small Talk Plus」で即興でやり取りし、会話を続けられる能力を伸ばせるように工夫されているということだと思います。

さらに、三省堂は4、5ページに教科書の仕組みと学び方が書かれているのです。「楽しみながら聞いたり読んだりしよう」、「身近なことについて工夫しながら話を続けよう」、これはどの教科書でもそういう扱いになっていると思うのですけれども、この繰り返しにより場面や状況に応じて日常的な話題、あるいは社会的な話題について英語で表現したり伝え合ったりすることができ

る力、これに重きを置いているのかなと思いました。ただし、文法は全然やっていないというわけではなく、チェックとかホームとかを巻末に載せているので、扱っているのですよね。この日常的な話題や社会的な話題ということを楽しみながら聞いたり読んだりすること、例えば「Lesson 7」の92ページ「Part 1」で、車椅子プログラムに参加したという極めて今どきの話題、シチュエーションで、93ページ「Scene 2」に、そのときの鳥海選手の講演内容が載せてあります。そして、95ページ「Scene 2」には鳥海選手に対するインタビューの記事が書かれています。それぞれ、聞く、読む、話す、書くの言語活動を行った後に、今度は96、97ページ「Goal Activity」で、スケートボードとカーリングの記事を紹介し、要点を捉えさせた上で「Speak」で、「どっちのスポーツを選ぶか理由を添えて自分の考えを英語で伝えよう」とつなげています。こういった構成に特徴があるかと思うのです。従って三省堂の教科書について、報告書には本文の内容が今どき、会話の内容が増え英語を実践的に使う場面が想像しやすい、話す、読む、聞く、書くのバランスがいいなどのコメントが見られたと思います。

なお、他の教科書では、指導しやすい、見やすい、そういったコメントがあったように思いました。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、次の2から4の観点については、まとめてご意見等を伺いたいと思います。

何かご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 英語については、4技能5領域が比較的新しく、目次レベルでアイコンを使ってしっかり表記されているということは、もしかしたら指導する側にとっては分かりやすいのかなと思いました。三省堂と光村図書は目次にもアイコンがカラーではっきりと書いてあって、分かりやすいと言えば分かりやすいのかなと思いました。

吉田教育長 ただいまのご意見についてでもよろしいですが、他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 小学校からのつながりは大切だと思ひまして、まず子どもたちは教科書の目次を見ると思うのです。そのときに、光村図書2ページ、東京書籍4ページ、啓林館1ページの目次には、その単元名があります。例えば啓林館は単元名とそこでどんな文法をやるのかということが一緒に載っています。そうすると、なかなか子どもたちは難しそうだと思うのではないのでしょうか。目次をぱっと見たときに、光村図書は単元名があって、その下に日本語があり、そしてここはこんな基本文をやるのだよ、という形で分かれて載っているのです。これは、子どもたちにとっても少し安心するかなと感じました。

また、先ほどから文法について幾つかお話に出ていたと思うのですけれども、比較をしてみま

した。東京書籍28、29ページ、啓林館30、31ページ、光村図書56、57ページで、どれもbe動詞、一般動詞、助動詞Can、を扱っているのですけれども、私は東京書籍が分かりやすいかなと感じた次第です。啓林館35ページ「英語早分かり」という形で扱っているのですけれども、とても簡潔で分かりやすいなと感じました。

吉田教育長 東委員。

東委員 資料、表記、その他の部分でみたときに、選定委員会の資料ですが、行間が学年によって変化していくと思って、そういう工夫をしているということに少しびっくりして、中学校1年生のときは行間を広くしてあって、3年になるにつれて行間を狭くしていくという工夫がされていて、一番幅を持って作っているのが光村図書でした。1年生と3年生では行間に2ミリの差があって、1年生のときは大きく見やすいようにして、だんだん行間狭くしていくという、学年進行によってそういうところまで配慮していることに驚いて、よく作っているなと思いました。その意味で、光村図書が一番配慮した教科書になっているなと思いました。

また、4技能5領域をどう学んでいくのかというのは、まだそれほど歴史があるわけではないので、教科書会社もいろいろ工夫しながら作っておられると思うのです。どの教科書も、これは「Speak」、「listen」と書いてあるのですが、一番分かりやすかったのは三省堂です。三省堂は枠で囲って、ここは「Read」、「Write」ということを非常に明確に、ここは何を学ぶのかというのを視覚的に書いていたので分かりやすいと思いました。次に、光村図書がスタンプを使って、ここは何を学ぶ場面なのかということが非常に明確でした。その他の会社も書いてはあるのですが、よく見れば分かるという感じだったので、4技能を学ぶ上での配慮は各社特徴があるなということが私見て感じたところ、印象です。

吉田教育長 別な観点でも構わないわけですから、他にご意見等ございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、これより外国語の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、野口委員、山口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2 番	東京書籍	2 3 点
9 番	開隆堂出版	2 5 点
1 5 番	三省堂	3 0 点
1 7 番	教育出版	1 9 点
3 8 番	光村図書出版	2 3 点
6 1 番	新興出版社啓林館	1 9 点

以上のとおり、外国語の教科用図書は、15番、三省堂を採択することに決しました。

次に、技術・家庭（技術分野）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

山崎選定委員 社会生活に最も密接で、活用していく教科です。

はじめに、東京書籍です。学習内容の説明など細かく丁寧に記載されています。各ページ右上のQRコードから動画を見ることで、視覚的にも作業の仕方や動きなどを知ることができます。より深い学びにつなげることもできます。内容のまとめの部分でも、身の回りのものを例題にして社会における問題解決の例として記載されており、様々な部分から知識を深めることにつながります。19ページをご覧ください。ガイダンスの段階から「最適化の窓」を取り入れることで技術における「見方・考え方」について、どのような視点で考えるかを明確にすることができます。そのほか、実際の問題解決に導くため、20ページに「問題の発見、課題の設定」、「設定・計画」、「製（制）・育成」、「成果の評価、改善・修正」、「新たな問題の発見」の流れが統一的に示されています。教科書全体にイラストやグラフなどの文字だけでなく、教科書を開いたときに学びの意欲を高めるための工夫がされています。例題に載っている製品や考え方などが、学校にあるものや生活の中で身近なものが多くあり、それを基に問題解決や課題を見いだすという流れになって

います。80ページに、新しい材料と加工の技術の開発で「技術の光と影」について示されており、持続可能な社会のためにどのようなことができるかを考えさせるよう工夫されています。84ページ、内容のまとめのページにおいて「学習のまとめ」があり、自分で学習の振り返りができるようになっています。32ページ「技術の扉」で学習内容を深める工夫があります。72ページに問題解決例があり、問題解決と社会での問題解決のポイントや比較をすることができるため、より実践的な態度や考えを養うことができるようになっています。

16ページをご覧ください。「見方・考え方」に関する「社会・環境・安全・経済」のアイコンを示し、生徒にも課題把握がしやすいようになっています。さらに、頻繁に「D」の学習コンテンツ、QRコードに関連している内容が示されています。各編に色の区別が統一されており、調べ学習の取りかかりが行いやすいです。また、28ページをご覧ください。題材ごとに「本時の目標」やキーワードが示され、生徒に理解されやすいものとなっています。

書体は、全て色覚も配慮したUDデザインとなっており、各内容は「理解する」、「問題解決に取り組む」、「つなげる、広げる」のまとまりで構成されています。

続いて、教育図書です。イラストや作業内容の写真を多く載せ、大きく見やすくなっており、作業学習での理解度が深まりやすく、製(制)作品例の設計図が細かく丁寧に記載されています。各ページ右下のQRコードで、大きく図面をチェックするようになっており、細かい部分までより理解しやすいです。36ページをご覧ください。問題解決のために「考えるポイント」が記載されており、どのような視点で考えればよいか分かりやすくなっており、解決策のヒントやアイデアもあるため、解決策がより具体的に記載されています。86ページ、138ページなどもそれらの領域の内容で、問題を解決する流れが記載されています。また、36ページのように授業の流れが見開きで理解し、見通しを持つことができます。各章では知識だけでなく比較的検討しやすいようイラストが並んでおり、グラフなども分かりやすく掲載されているので、考えて学ぶための工夫もされています。66ページでは「技術のプラス面とマイナス面」について示されており、「技術の誠実ないかしかな」を考えさせるよう工夫されています。また、内容のまとめの中で、67ページ「SDGsや環境など」のキーワードを用いた視点から考えることができ、様々な物事の関わりを知ることができます。246ページ「夢叶える技術」では、社会や環境との関わりが具体的に書かれており、技術によっていろいろな形で夢を実現していくことが理解でき、よりよい発想を生み出すよう記載されています。34ページは、安全第一に作業を進めることができるよう記載されています。22ページ「技ビト」では、各分野でのプロフッショナルの人たちのインタビューの記載があり、技術を通して生活を豊かにする中での環境との関わりや安心安全であるための工夫など、それぞれの内容の中で深く学ぶことができます。さらに、プロの話が聞けるので、日常生活につながり、キャリア教育にもつながりやすくなっています。また、「どうして」、「なぜ」の流れが仕組まれており、その流れで3つのステップとして「見つける」、「学ぶ」、「ふり返る」の流れが統一

されています。また、アイコン・マークを活用し、安全・衛生教育、情報教育などを重要箇所として取り上げ、学習のめあてとふり返りが一体化となっており、各編の最後には69ページのように評価の3観点について「主体的に学習に取り組む態度」、「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関するまとめの問題があります。

29ページの技術の例や「スゴ技」、101ページの先輩、先人に聞いてみるなど職人さんや伝統文化に触れ、38ページの問題解決にチャレンジを見ながら学習を深めることができます。また、各編に色の区別が統一されており、資料は全て本文の説明と関連づけてあり、調べ学習の取りかかりがスムーズで、「本時の目標」やキーワードが示され、生徒にとって理解しやすくなっています。文字の色は青の太字などを採用しており、色覚やUDに配慮されています。また、別冊でスキルアシストノートの活用が学習内容をより深く理解するための資料もついています。

続いて、開隆堂です。イラストと文字のバランスがよく、教科用図書全体が見やすくなっており、各ページ右上にQRコードがあり、詳しく知りたい部分を視覚的に理解することができます。また、図やグラフなどで比較検討したものが一目で分かるようになっており、知識だけでなく「見方・考え方」にも結びつけるよう工夫されています。63ページの作業のページには、工具の使用方法に加え、「作業のポイント」が記載されているため、作業の意識する部分や注意するポイントが明確になっています。ガイダンス7ページに「企業での製品開発について」の内容や、8ページ「技術の役割」、12ページ「見方・考え方」、14ページ「学習の流れ」などが明確に示されており、どのように技術的視点から考えるかが分かりやすく記載されています。各内容の最初のページに学習課題が設定されており、その課題に取り組みやすいようにQRコードを読み込むこともでき、そのコードから動画を見て課題に取り組むようになっています。16ページは、問題解決の流れ、「問題発見」、「設定」、「設計計画」、「実用的な製作」、「芸術的な製作」、「育成」、「評価」、「改善」が具体的に書かれており、評価改善についてのワークシートがあり、学びに向かう力の育成の向上につながっていきます。104、105ページは、Aの領域である「材料と加工の技術」の最後にインタビュー記事があり、その仕事の本質を知ることができます。18、19ページは、安全に作業をするための服装や行動などがイラストと文字によって分かりやすく表示され、工具だけでなく情報機器においても安心安全な使い方や体への負担も記載されています。より深く作業に取り組めるようになっています。そして、学びの見通ししやすいアイコンやマークを活用し、安全への配慮や防災、伝統文化との関連、ほかのページや他教科との関わりが分かるようになっています。例えば47ページにあるように学習コンテンツは奇数ページの右上に存在し、動画や資料により詳しく学ぶことができ、右下には「Check!」があり、学習課題と対応して学習を振り返ることができます。各編に関連のある内容や色の区別が統一されており、瞬時に調べ学習の取りかかりなど行いやすくなっています。12ページには「調べてみよう」、44ページには「やってみよう」など関心や意欲を高める工夫があります。色覚を配慮し、UDを配慮した工夫もあります。各内容は「基

礎・基本」、「問題解決」、「技術と私たちの未来」のまとまりで構成されています。286ページ「技術分野の出口」では、社会の問題に技術で対応するために様々な技術を組み合わせた考え方を深められるよう工夫され記載されています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。ご質問等はございますか。

足立委員。

足立委員 選定委員として推薦するのはどの教科書でしょうか。

石塚選定副委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票しました。65点が満点となります。その結果ですが、2番、東京書籍48点、6番、教育図書43点、9番、開隆堂58点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、58点の開隆堂、48点の東京書籍、43点の教育図書を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 その選定委員会で出た意見とか話題とかといったことについても、ご紹介いただければと思います。

山崎選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、実習を行うために流れや手順などが分かりやすく示されているような工夫が見られるかということです。

2点目は、生成AIについて、また取扱う際の留意点について各社どのように扱っているかということが出ました。

吉田教育長 東委員。

東委員 生成AIについてどのように扱っているかという意見が出たということなので、少し特徴があったら教えてください。

山崎選定委員 東京書籍264ページの左上に「AI人工知能と私たちの生活」という欄があります。教育図書188ページの真ん中に説明があります。開隆堂280ページの下「参考」も含めまして説明があります。どの教科書も載っているのですが、これから我々子どもたちと一緒にどのように授業の中で取り組んでいくかということを取り組んでいくところでございます。

吉田教育長 未知数の部分もあるから、今後ということなのですかね。

山崎選定委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 学校の調査報告書ではどの教科書の推薦が多かったのか。また、その主な理由について教えてください。

山崎選定委員 学校からの推薦では、開隆堂が13票、次いで東京書籍が6票、教育図書は2票という結果でした。

推薦理由としましては、開隆堂では問題解決について技術の見方・考え方を基に振り返るワークシートがよくできている。図解や手順が分かりやすく、単元指導のポイントが明確。学習課題が明記され、授業を進めやすい。

東京書籍では、問題解決での新しい技術に向けて、4つの技術に統合されるように工夫されている。資料が多く、様々な角度から課題に迫れるようになっている。

教育図書では、日常生活につながりがあり、キャリア教育にもつながりやすくなっています。

「どうして？なぜ？」という流れがあり、学びの質が高い。このような意見がありました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 技術では、「問題解決」のための問題の発見や課題の設定が重要だと思うのですが、実際に生徒が問題や課題を見つけるための工夫というのはどのようになっておりますでしょうか。

山崎選定委員 東京書籍は、20ページから5段階のステップで取り組み方が、22ページに問題解決の取り組み、58ページに「問題の発見と課題の設定」があり、72ページから77ページにかけて問題解決例があり、このような工夫が各分野にあります。また、266ページから271ページには「統合的な問題解決をしよう」、これまでに学習してきた内容を総合的に取り組めるよう記載されています。

教育図書は、8、9ページに技術の「問題解決ってなに？」で、全体の学習の流れの説明があり、36、37ページや86、87ページのように各領域に「問題を解決する流れを考えよう」があり、「1 完成品をイメージしよう」、「2 製作品を設計しよう」、「3 製作品を完成させよう」、「4 製作品を活用しよう」の4ステップで漫画的に説明され、取り組みやすく工夫されています。

開隆堂は、6ページに問題解決の方法や解決策の考え方の例があり、16、17ページに問題解決の流れが4ステップでガイダンスの説明があります。50ページから73ページや128ページなどに、問題解決の手順が写真や図、吹き出し等で細かく説明されており、各学習内容に自然と学習できるよう工夫されています。286ページから297ページ「技術分野の出口」として、「技術分野での問題解決を振り返ろう」で問題解決のための学習ができるかどうかの確認ができるようになっています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員会には1号委員として保護者の方がいらっしゃいますけれども、どのような意見が出ましたでしょうか。

石塚選定副委員長 保護者からは、コンピューターやプログラミングを扱うが、情報の扱いも含め生徒が正しく使うことを指導することが重要だと思うが、各社の工夫が見られるか、という意見が出されました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 技術というのは中学生になって初めての教科であることから、子どもたちもどんなことを実際に学ぶのかというのが非常にわくわくしていたりとか不安だったりすると思うのです。どの教科書も技術とはどういうものを学ぶのかということは書いてあるのですが、開隆堂6、7ページ、東京書籍12、13ページ、教育図書3ページを比較したときに、教育図書は小学校とのつながりで書いてあって、とても分かりやすくていいなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

なければ、私からですが、技術分野では、材料と加工の技術がA、生物育成の技術がB、エネルギー変換の技術がC、情報の技術がD、これらについて基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけること、これが求められておりますが、開隆堂2、3ページの目次を見れば分かるように、AからDごとに1「生活や社会と関わる技術」から入り、Aを見てもらうと分かるのですが、赤字で1―1、1―2、2―1と書いてあります。2はほぼ実習に関わることを経て、今度は3「これからの技術」につながる構成になっています。これは、B、C、D、皆同じような構成になっているのが分かるかと思います。

この点については他社の教科書も同じような構成になっているのですが、開隆堂では、62ページから73ページに製作作品の例示が数多く掲載されており、それだけ解決策の工夫の幅が広がりやすくなっていると思います。また、技術分野で求められている力、単に何かを作る技術力だけではないわけで、この点、開隆堂では4つの項目、社会からの要求、安全性、環境への負荷、それから経済性、これに着目して最適化について考えさせるということは、これ自体、技術

の物の見方・考え方になるわけです。この考え方を働かせつつ、実習、評価、改善する活動を通して課題を解決する力、これを養えるよう工夫されています。具体的に1つ例を挙げると、開隆堂26、27ページに「Wants」、「安全」、「環境」、「経済」と書いてあって、これについて最適化を図るということで、これが技術の物の見方・考え方につながるわけですが、こうしたことが具体的にどういうふうに現れているかというのが27ページの下の写真です。おもしろいのは、右側の消しゴムを見てもらえば分かるのですけれども、要するに角張ったほうが消しやすいという、たくさん角がある消しゴム、こういった工夫が見られます。人々の思いや願いが技術に関する問題の発見につながり、そこから技術の向上が生まれていることを、これは分かりやすく見させているかなと思いました。学習の流れについてもそうした工夫が見られます。これは、CからDについても同じような流れになっています。

こうした工夫は各社とも見られるわけで、例えば東京書籍16、19ページ、LEDライトのようなものが入って、漫画が入っていますけれども、これに「社会からの要求」、「安全性」、「環境への負荷」、「経済性」、「最適化の窓」となっていて、それで技術の物の見方・考え方が何なのかというのが16、17ページの漫画で示されているのです。これは見せ方だと思うのです。そういう工夫が各社ともにされているということです。なお、開隆堂は、報告書を見ると学年まで示されており、小中との関わりが丁寧を示されているとか、作業の仕方や道具の扱い方が分かりやすく、イメージしやすくする工夫が見られるとか、以前より内容が充実したなどのコメントが見られています。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 子どもたちが学ぶに当たって、まず我々の時代には絶対になかったコンピューターについて、各社のページを少し比較してみたのですけれども、開隆堂240ページ、東京書籍202ページ、教育図書176ページがコンピューターの仕組みという同じ単元を扱っています。開隆堂は、学習の目標を立て学習の課題を挙げて、そして最後に「check!」、241ページの下、この事業で理解できたことについてチェックをするという形を取っていて、これは分かりやすいなと思いました。東京書籍は、まず目標があって、そして「レッツスタート」のところで投げかけてみて、そして学習課題を明らかにして、「今日のまとめ」という形で書いてありまして、教育図書は、めあて、そして「見つける」で身近な話題を提示して、では「学んでみよう」、そして「やってみよう」という形になっていて、それぞれ学ぶ手順が明確になっていていいなと思ったのです。一つおもしろいと感じたのは、教育図書176ページ「やってみよう」で、十進法を二進法で表す、「8を表してごらん」というところがおもしろいなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、次の観点の2から4については、まとめて協議することといたし

ます。

ご意見等ございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 技術・家庭（技術分野）は特に実技を伴うものなので、怪我をしないということはすごく大事なことだと思います。各社巻頭には安全対策が書いてあるのですが、実技では本棚を作るなど各社あると思うのですが、そこで一番丁寧に安全というのが書いてあるのが開隆堂なのかなと思います。色も黄色に緑という安全第一のヘルメットと同じ色においてはイメージもしやすいですし、この辺は優れているところなのかなと思いました。

吉田教育長 ただいまのご意見について、もしくは別な観点でもよろしいかと思いますが、何かございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 特徴的なこととして、教育図書はスキルアシスト、技能面などを別冊で扱うという形ですね。QRコードについては、各社とも分かりやすい場所に載っていると思いました。東京書籍では右上、開隆堂も右上、そして教育図書は下のほうにあるのですが、恐らくどの会社も見やすくしているのだな、大分工夫されているなと思いました。

ただ、現場の声を聞いてみますと、資料が分かりやすいとか図解が見やすいとか、あるいは写真が分かりやすいとか、そういうことで現場としては使い慣れているというのがあるのでしょうか、開隆堂のほうきとびつたりくるのかなという印象を受けました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 野口委員のご意見にもありましたように、教育図書のスキルアシストは切り離していつでもどこでも移動できるので、とても便利だなと思ひまして、もう一つ、教育図書の巻末にあります設計シートは、恐らく物を製作するときには図面を引くと思うのですが、これを使いますと、まず「完成形をイメージしよう」で、困っていることとかこれから問題になりそうなこと、それを解決するためにはどうしたらいいのだろう、ではという形で、具体的に自分の考えを書いて表すことができるのがいいなと思いました。例えばCのエネルギー変換についてもきちんと理論立てて、明確に自分で理解しながら製図ができるので、とても子どもたちの助けになるのではないかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより技術分野の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、足立委員、渡辺委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2番	東京書籍	23点
6番	教育図書	24点
9番	開隆堂出版	30点

以上のとおり、技術・家庭（技術分野）の教科用図書は、9番、開隆堂出版を採択することに決しました。

次に、技術・家庭（家庭分野）の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

山崎選定委員 これから心豊かな生活を営む上で最も密接で活用していく教科です。

東京書籍は、66ページに必ず身につけさせたい基礎的な技能が記載されています。73ページまでは調理、126、134、146ページは衣服関係のような各学習内容が、「いつも確かめよう」のコーナーでまとめられています。また、各奇数ページの右上のQRコンテンツも充実しており、技能を確実に習得できるような工夫があります。さらに、基礎技能を用いてできる実習例や難易度の低い実習例を取り上げており、取り組みやすく記載されています。110、111ページのように各編の最後に学習のまとめが記載され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的な知識、技

能が習得できるよう工夫されています。6、7ページに学習の進め方を具体例とともに示し、その後の学習や生活の場で生かすことができるようになっています。実習の後に77ページ右下の「できるかな」、37ページの「プロに聞く！」のように学習に関わりのある人からのメッセージを紹介するつながりがあり、主体的に学習に取り組む態度ができるように工夫されています。巻末271ページに「選択」、「生活の課題と実践」が設けられており、これまでの学習を基に、よりよい生活を創造するよう態度を養うための工夫がされています。152ページの左下「私のオリジナル」のコーナーでは、家庭や個の実態に合わせて選択できるよう実践例が多く掲載されるなど工夫されています。30ページの左下「せいかつメモ」のように実生活に役立つ情報が、各偶数ページに記載されており、活用しやすくなっています。45ページから47ページには実物大の写真や多様なデジタルコンテンツ、コンピューターを用いたワークシートやシミュレーション、思考ツール等学習効果を高めるための工夫がされています。

65ページ「安全」マーク、64ページ「衛生」マークを付して生徒の意識を高めるよう工夫されています。67ページをご覧ください。アレルギー物質には黄色の三角の中に感嘆符のマークで記載されています。30、31ページ、32、33ページと見開きごとに「目標」と「学習課題」が掲載されています。UDのフォントや色彩特性に配慮されており、調理実習などの作業など見開きで一連の流れが分かりやすく工夫されています。

ガイダンス後、内容がBの（衣食住の生活）、Cの（消費生活・環境）、Aの（家族・家庭生活）の内容に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されています。

続いて、教育図書です。9ページの右上「見つめる」、「学ぶ」、「ふり返る」の3つの学習過程で展開することが示されています。学習のめあてがはっきりと示されており、16ページ「学ぶ」、19ページ右下「ふり返る」と明記され、めあての内容が身についたかチェックができるようになり、基礎的、基本的な知識を習得できるよう工夫されています。21ページ「話し合ってみよう」などのように主体的、対話的な活動を多く取り入れています。16ページ右上「見つめる」を受けて、生徒自身自分ごととして捉えることができるよう「見つめてみよう」で学習と生活を結びつける工夫がされています。222ページ「つなぐ、つながる」が示されており、社会問題を自分ごととして捉えることができるコラムなどの工夫が数多く掲載されています。7ページ「センパイに聞こう！」など学習内容に関わりのある方々の一覧があり、35ページ「センパイに聞こう！」のコーナーのようにメッセージやインタビューを紹介する工夫や、43ページ右下のQRコードなどで動画も視聴できるような工夫がされています。185ページ「つくってみよう」のコーナーは、布を使った製作や、130ページに調理実習の実習例、アレンジ方法や組み合わせて作る実習例なども記載されており、生徒が工夫しやすくなっています。24ページにはロールプレイング等の活動例も記載されています。

101ページに「衛生」や「安全」の注意事項のマークの表記があり、105ページ右下にデジタル

コンテンツも表記されています。114ページには、アレルギーリスクには赤の下線で示されています。150ページに章末のまとめ、学習の振り返りがあり、このように各章に学習の確認ができるようになっています。調理実習の作業などは、115ページのように片面で一連の流れが分かるよう工夫されており、色使いや図の見やすさ等UDに配慮されています。

配置としましては、ガイダンス後、A領域の（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）の内容の順に配列され、巻末に生活の課題と実践が掲載されています。

続いて、開隆堂です。学習で習得した知識及び技能などを実生活で活用するために、292ページ「生活の課題と実践」として多種多様な課題が豊富に広い視野から捉えられるよう設定されています。19ページ「考えてみよう」などがあり、実践的な活動に意欲的に取り組み、86、87ページのように内容のまとめりに「学習のまとめ」が掲載されており、知識・技能の定着を図る工夫がされています。全体的に身近で日常生活の中から考えられる課題が設定されており、生徒自身が生活の中で課題を発見しやすく工夫されやすくなっています。26ページに黄色の枠の卵のイラストを用いたタイトルがあり、何を学ぶのかが示され、科学的根拠に基づき視覚的に理解しやすいようにまとめられており、学習の見直しが持てるよう工夫されています。31、32、33ページのように「参考」のコーナーや「先輩からのエール」、「知識の取組」コーナーなど興味関心、疑問から人や物、事柄と対話し、課題解決に向かう力を養えるよう工夫がされています。47ページ「やってみよう」が説明されていることで、実践的・体験的な活動に取り組みやすく、様々な言語活動ができるように設定されています。65ページをご覧ください。ロールプレイングや触れ合い体験、高齢者インタビューや実際の中学生の取組や地域の取組など、人との関わりについて考えることができるように工夫されています。グループワークの様子等の活動でも掲載されています。実習だけでなく、72ページのように個に応じて深められる内容が掲載されており、資料が豊富で発見的な学習につながるよう工夫がされています。科学的な見方・考え方が示され、統計資料やグラフを用いて説明の根拠が示されており、104、105ページのように食べ物は体の中でどうなるかなど具体的に説明があり、学習効果を高める工夫がされています。

118ページのように「安全マーク」や「衛生」の注意事項のマークを表記しており、食物アレルギーを含む食材には、128ページに材料がありますが、黄色い色を付して注意を促す表記など、調理実習例に具体的に記載されています。126ページの右上のように学習の内容ごとに学習の目標が記載され、目標がはっきりとしています。調理実習などの作業などは、見開きで一連の流れが分かりやすく工夫されており、フォントや色彩とUDを活用しています。

配列は、ガイダンス後、Aの（家族・家庭生活）、Bの（衣食住の生活）、Cの（消費生活・環境）の順の内容に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。何かご質問等はございますか。

東委員。

東委員 選定委員会のほうでは、最終的にどの教科書を推薦するということになったのか教えてください。

石塚選定副委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出された意見などを参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階評価で記載し、無記名で投票いたしました。65点が満点となります。その結果ですが、2番、東京書籍52点、6番、教育図書37点、9番、開隆堂60点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、60点の開隆堂、52点の東京書籍、37点の教育図書を推薦いたします。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

山崎選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、家庭科とSDGsの関連について、各社どのように取り扱っているかということ。

2点目は、食物アレルギーの扱いについて注意を促すような工夫が見られるかということなどが出ました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか。また、その主な理由について教えてください。

山崎選定委員 学校からの推薦では、開隆堂を推薦する学校が最も多く12票、続いて東京書籍が7票、教育図書が2票という結果でした。

推薦理由としましては、開隆堂では、生活の課題と実践の課題が多く、生徒が取り組むときに参考にしやすいということ、本文が分かりやすい記載で図や表も多く、実物大の画像を使うなどして工夫が多いということです。

東京書籍では、導入や学習課題の明記が分かりやすく、利用しやすい。ミシンの準備について大きく丁寧に説明されていて分かりやすい。プロの言葉が動画になっており、授業で活用しやすいということです。

教育図書では、図やイラストが見やすく分かりやすく、写真が多く、目で見ても知識は豊富で、使用したいと思ったという意見等がありました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 先ほどの選定委員会の資料のご説明でもあったと思うのですが、選定委員会の話題で食物アレルギーについての配慮についてどのように示されているのか、もう一度ご説明いただければと思います。

山崎選定委員 東京書籍は、56ページに食物アレルギーについてまとめた記載があり、76ページから材料と分量、三角形の黄色い中に感嘆符がありますが、そちらがアレルギーのもの、ということが示されています。

教育図書は、98ページにアレルゲン、99ページにアレルギー物質が記載されており、114ページ左下の材料、分量にアレルギー物質の材料に赤線が引かれて示されています。

開隆堂は、118ページに「食物アレルギーに注意」、155ページにアナフィラキシーや食品が記載されており、128ページの左側の材料と分量のところに蛍光ペンのようにアレルギー物質を示す材料が示されています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選定委員会には1号委員として保護者がいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

石塚選定副委員長 保護者からは、子どもに自立して社会に出てほしいという思いが保護者にあるが、家庭科で将来の職業につながるような工夫があるとよい、という意見が出されました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 家庭科というのは、子どもたちがこれからよりよく生きていく上で最も大切な身近な学びの場であると思うのです。3社ともその家庭科を学ぶ意義、必要性というのは非常に丁寧に説明がなされていたと思います。私が特によいなと思ったのは、開隆堂の記載なのですが、例えば多様な暮らし方でいうと、26、27ページの「様々な暮らし方」で、「国際結婚による親と子ども」、「父親と子ども」、「児童養護施設の指導員と子ども」、こういう暮らし方もあるのだということ、「里親と子ども」、「叔父と甥」など様々な家族がいるのだよということを教えてくれていて、これはそれこそ誰一人取り残さないという観点から見ても、いろいろな家族がいるのだなということが子どもたちに分かってよいなと感じました。

さらに、例えば現代的な話題であります31ページ「ヤングケアラーの声」で、ご自身がヤングケアラーだったという方の意見が載っていたり、81ページ「中学生の取組」で、スカートで通学、普通のことにということで、自認の性に寄り添って生きていくというようなことが、朝日新聞からなのですけれども、そういうことを取り上げていたり、トランスジェンダーのことが取り上げられています。32ページ「生まれてよかったと思ってもらえたら」で、里親制度のことが書いてあり、「このとりのゆりかご」に置かれて、実際に里親の下で育った方がインタビューに答えていて、身近な問題として取り上げられているのがとてもいいなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 栄養学の基礎のようなものがあると思うのですけれども、各社それぞれ工夫があり、東京書籍は、37ページで必要なカロリーなどが分かりやすく相談できて、その後141ページ、食品群という考え方について見やすく書いてあると思います。開隆堂も、114ページにから揚げ弁当があり、それを食品群に分けてみましょうというのが実習形式になっているのです。調理をする、おいしくつくる方法などはいろいろ学ぶと思うのですけれども、栄養学の基礎を学ぶという機会はなかなかないと思うので、こういった形でしっかり実習で生徒に考えさせるという仕組みがいいのかなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、次の観点に移りますが、2から4についてはまとめて協議することといたします。

ご質問、ご意見等はございますでしょうか。この4観点以外でも構いませんが、ご意見等はございますか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより技術・家庭（家庭分野）の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、山口委員、東委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果について報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2 番	東京書籍	2 4 点
6 番	教育図書	2 0 点
9 番	開隆堂出版	3 0 点

以上のとおり、技術・家庭（家庭分野）の教科用図書は、9 番、開隆堂出版を採択することに決しました。

◎休憩の宣告

吉田教育長 ここで暫時休憩といたします。

次の美術については、午後 3 時30分から再開することといたします。

休憩 午後 3 時 2 0 分

再開 午後 3 時 3 0 分

◎開議の宣告

吉田教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

美術の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

岡村選定委員 はじめに、調査の観点 1、内容についてです。3 社とも共通してある題材、風景画について比較して紹介したいと思います。

開隆堂 2・3 の10ページ、光村図書 2・3 の 8 ページ、日本文教出版の 2・3 上の14ページで

す。どの教科書にも題材名の右に1知識・技能、2思考力、判断力、表現力、3学びに向かう力、人間性についての目標が分かりやすく表記されています。開隆堂は、「地」、「知」、「学ぶ」の表記で、光村図書と日本文教出版は電球やハートのマークで表記されています。

開隆堂は、ほとんどの題材が4ページで構成されています。鑑賞のページ、発想・構想のページ、知識・技能のページとページごとに整理されており、学習を進めていく上で分かりやすい紙面構成になっています。それぞれのページで鑑賞、発想・構想、知識・技能についてしっかり学習を押さえることができます。12ページでは、生徒の活動している様子やアイデアスケッチなどで発想・構想に役立つ工夫があります。13ページでは、「知識・技能」として自然の光や空間について気づかせています。知識・技能についてコーナーがあるのは開隆堂の特徴で、他社にはありません。美術作品、生徒作品とも構図、奥行き、光、空間などの意識した作品が多く掲載されています。

続いて、光村図書です。ほとんどの題材は2ページで構成されています。主要の題材では4ページになっているものもあります。紙面の構成は、鑑賞のページを中心に、次に「表現」のコーナーがあるというつくりになっています。8ページの右上にあるように、知識・技能については、ポイントのオレンジの囲み枠で形や色、題材など着目してほしい視点を表記しています。10ページには「みんなの工夫」というコーナーがあります。生徒の制作の様子や作者の言葉があり、発想の仕方や考え方が分かりやすく紹介されています。また、QRコードでインタビュー動画を見ることができます。感じたことや思いを意識して自由な発想で表現している作品が多く掲載されています。

続いて、日本文教出版です。ほとんどの題材は2ページで構成されています。その分、題材の数が多く、幅広い美術の授業が期待できます。ページでの区分はなく、左上にあるように、「表現、鑑賞」または「鑑賞」という構成になっています。知識・技能については、15ページの中ほどにあるように、造形的な視点として見方、感じ方を深めるために着目してほしい視点が表記されています。思考力、判断力、表現力については、15ページの下段にあるように、「表現のヒント」という囲みの表示で参考になる表現の工夫が分かりやすく載せてあります。視点を変えて、いつも違う見方を意識した作品が多く掲載されています。

次に、調査2の資料、観点2の表記・表現、観点4の総括についてそれぞれの教科書について説明いたします。

まず、開隆堂です。今回の魅力として、表現のつくりにあります。美術1では、ガウディのドラゴンのタイルのツルツル感、美術2・3ではゴッホの「ひまわり」の油絵のごつごつ感、凸凹があり、触って楽しむことができ、美術作品に興味を持つ効果が期待できます。美術1の2ページは小中連携についてです。小学校の図画工作から美術へつながるように活動の様子を載せ、イメージが分かりやすいように紹介されています。7ページには教科書で使われているマークが整

理されていて、知識や表現について学習を深める工夫があります。3人のキャラクターがこの3年間に登場し、問いかけをして意欲を高め、学習をサポートしています。53ページ、SDGsについての題材と関わる話題や作品のコーナーとして取り上げています。52ページの中ほどに美術の用語があります。専門的な用語について説明され、理解を深めることができます。原寸表示のあるものは実物の大きさが掲載され、作品をイメージしやすくなっています。資料では、54ページから「学びの資料」としてまとめられており、表現活動をする上で必要な知識・技能を紹介しています。QRコンテンツについて、44ページをご覧ください。全ての題材で上部にQRコードがあり、その右にコンテンツに入っている内容が明記されていて、分かりやすいです。全題材で導入の動画「はじめに」があり、先ほどのキャラクターによる学習内容の説明が見られます。また、用具の使い方の動画、ワークシートやふり返しシートなどが入っているのも他社にない開隆堂の特徴になります。

続いて、光村図書です。特徴は、別冊の資料集にあります。美術では資料集を別に購入する学校がありますが、このように教科書に附属されていれば助かります。3年間を通して生徒が自由に活用できるよさがあります。美術1の10ページをご覧ください。小中連携についてです。「美術の扉を開こう」では、小学校の学びを生かして中学校美術で学習する「表現」、「鑑賞」について紹介しています。8、9ページでは教科書の使い方の説明があります。ページの下之余白に道徳や他教科、SDGsとのつながりが鎖マークで表記されています。道徳科は内容項目が、SDGsについては関連目標の番号が明記されています。42ページ、鑑賞教材として「体感ミュージアム」というコーナーが3題材あります。内容が充実しています。36ページの観音開きでは、風神・雷神像の迫力のある彫刻が掲載され、開くと風神雷神図屏風の絵が現れます。この風神雷神図屏風については、3社とも美術1の教科書に紹介されていますが、仏像と併せて鑑賞できるつくりになっているのは光村図書の特徴です。42ページの下の大きめのQRコードで、さらに詳しく解説動画や書き込みツールを活用し、学びを深めることができる工夫があります。美術2・3の27ページをご覧ください。16ページにわたって和紙に近い風用の紙が使用され、触感からも学習意欲を引き出す工夫がされています。日本画の作品の魅力が感じやすいつくりになっています。資料のQRコンテンツですが、生徒作品が圧倒的に多いです。また、立体作品を360度回転ができたり、作者の言葉や工夫インタビュー動画が見ることができたりすることも特徴になります。

続いて、日本文教出版です。大きな特徴は、美術1、美術2・3上、美術2・3下の3冊になっていることです。各教科書のテーマがあって、発達段階に応じて学びを深められるように工夫されています。それぞれの表紙の表と裏がつながっていて、広げて鑑賞できるつくりになっています。美術1の見開き2、3ページをご覧ください。教科書のテーマと関連して表紙の絵が紹介され、意欲と理解を深める内容になっています。小中連携についてです。6ページ「ようこそ美術の学びへ」では、小学校図工から美術2・3下まで3年間を見通したテーマや作品が紹介され

ています。10ページと36ページは、中学校から絵や彫刻、デザインや工芸という分野に分かれています。1年生では初めてのことで、それぞれ絵や彫刻との出会い、デザインや工芸との出会いとして題材の参考作品を通して見通しが持てる導入ページになっています。他社においても美術1に同様の分野の導入のページがありますが、制作活動を中心に紹介することでイメージしやすいようになっています。21ページの上にかかれている主文が、造形的な視点や中心となる考え方を意識して取り組めるように、どの題材でも詳しく書かれています。さらに、QRコードを読み取ることで「学びのはじめに」という導入動画を見ることができ、学習内容をイメージしやすいようになっています。右上に「短時間でつくる」という短時間題材が紹介されているのも特徴です。美術2・3下の14ページの漫画の表現、24ページの震災の作品が訴えること、42ページのCM制作による映像のメッセージ、これらのように3年生という発達段階で社会とつながる美術として興味関心が持てる多様な題材が取り上げられているのも日文の特徴になります。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

ご質問等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 選定委員としてどの教科書を推薦するのかご説明願います。

石塚選定副委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が3種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票しました。65点が満点となります。その結果ですが、9番、開隆堂52点、38番、光村図書61点、116番、日本文教出版44点でした。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、61点の光村図書、52点の開隆堂、44点の日本文教出版を推薦いたします。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 その選定委員会ではどういった話題が出たのかも併せて教えてください。

岡村選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、日常生活から造形的な美しさを見通す視点を培うための工夫があるかということ。

2点目は、作品を作る際に生徒が発想を広げられるような工夫や発想力を培うような工夫が必要であるということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか。また、その主な理由について教えてください。

岡村選定委員 学校からの推薦では、光村図書を推薦する学校が最も多く12票、次いで開隆堂が6票、日本文教出版が5票という結果でした。

推薦理由としては、光村図書では、多様な作風の作品や写真が数多く掲載されている。小学校からのつながりを意識した導入、掲載作品が多い。生徒を自主的な発想を促す掲載が多い。

開隆堂では、制作上のポイントや発想の手だてが共通のマークで示されており、発想を深める工夫が見られる。一つの題材について4ページを使うなど内容が充実している。

日本文教出版では、内容が偏りなく充実している。発想の手だてや道具の使い方が写真つきで説明が詳しく載っている、などの意見がありました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 美術では表現と鑑賞がありますが、相互の関連性についてはどのように示されているのでしょうか。

岡村選定委員 美術の内容は表現、鑑賞及び共通事項から構成されていますが、表現と鑑賞を別の活動としてではなく相互に関連づけて取り組んでいきます。教科書では表現と鑑賞の構成の仕方にそれぞれ特徴が見られます。

開隆堂では、鑑賞のページに始まり、発想・構想のページ、次に知識・技能のページと4ページを使ってページごとに分かれていて、授業の流れに沿ってつくられています。

光村図書は、鑑賞のページで始まり、表現のコーナーとして構成されています。

日本文教出版は、表現と鑑賞に分けることなく一緒に掲示し、「表現のヒント」という枠組みで紹介されています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員会には1号委員として保護者の方がいらっしゃいますが、どのような意見が出たでしょうか。

石塚選定副委員長 保護者からは、光村図書は資料集という形で技法や用法が別冊になっているが、他社も技法の紹介のページが設けられており、生徒が作品を制作する際に自分自身で調べて使えるところがよい、という意見が出ました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

足立委員。

足立委員 各社とも表紙からこだわりが見えて、すばらしいなと思いました。特に開隆堂は表紙の質感が触って感じる事ができて、生徒の興味を引くものだなと思いました。光村図書も表紙をすぐ開きますと見開きで写真と文が載っていて、思わず読んでしまうような内容で、興味を引きつけられました。日本文教出版も見開き表紙に作品を使っていて、いいなと思いました。

日本文教出版は多く生徒作品を掲載していて、生徒の思考を促すのに役に立つのではないかなと感じました。扱っている内容としては、どの教科書も多くの作品を大きく掲載していて目を引くものでしたが、私は特に光村図書の美術2・3に有名な題材「ゲルニカ」が載っているのですが、この制作過程のところまで見開きで大きく掲載していて、かなり興味を引くものだなと感じました。

吉田教育長 他にはございますでしょうか。

なければ、私からですが、生きて働く知識・技能ということが言われるわけですが、学習指導要領では対象を捉える造形的な視点、これを理解するとともに、表現方法を工夫して創造的に表すことができるようにするとあるわけですが、この点、光村図書では美術1の17ページですが、生徒の作品をかなり取り上げております。また、QRコードでも、先ほどの選定委員の説明だと光村では生徒の作品を多く取り上げているというお話がありました。24、25ページに、この生徒の制作過程、作品を取り上げるだけでなく、その生徒の制作過程やそこでの工夫が紹介されておりまして、それを通して光や色、形、構図などのいわゆる造形的な視点、これに着目して描くことで絵の理解をしやすくしていると思います。

また、光村図書では、16ページの上に「ポイント」が、あなたならどのような材料や道具を使って描くだろうかと投げかけた上で、17ページで吹き出しを使って生徒のそれぞれの工夫を紹介するというやり方で、対象を捉える造形的な視点を取り上げ、感性や創造力を働かせ、いわゆる自分としての意味や価値をつくり出す自分なりの表現に向かわせるよう工夫しています。表現といってもどういうふうに表現したらいいのかというところが、この子どもたちの吹き出しを、あるいは作品、あるいはその制作過程を見させることによって自主的に考えさせるというのですか、そういう工夫がされているなと思いました。この点からして、光村図書の教科書に係る報告書では、多様な作風の作品や写真が多く、工夫が充実しているとか、別冊資料も工夫されている、生徒の自主的な発想を促す掲載が多いなどのコメントが多く見られるように思います。

他にはございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 風景画ですけれども、風景を実際に写真や絵画にするというのは意外と難しいと思うのですけれども、光村図書では25ページで今教育長がおっしゃったことなのですから、一つの景色に関していろいろな角度から見てみることによって自分にとっての風景がどう浮かび上がってくるかということが分かるようになっていて、これは大事な視点だと思います。開隆堂の2・3年生の12ページには、生徒の作品に関して、その下書き段階のところも記載があって、鉛筆のスケッチで生徒がどんなことを考えて、その上で作品完成形がどうなったかという、その考えの道筋が見えるようになっていて、こういったものも風景をどういうふうに捉えるか、それを作品としてどうやって結実させるかということも大きなヒントになると思ひまして、特にこの2冊の教科書についてはそういった面が優れていると思ひました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、次の観点2から4については、まとめて協議することといたします。

ご意見等はございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 資料という点で、先ほど足立委員からもお話がありましたけれども、開隆堂の1年生、2・3年生のゴッホのひまわりの絵というのは、先ほど選定委員からもご紹介ありましたけれども、一体感とか筆遣いが出ていて、油絵を鑑賞しているなという感じを受けました。非常に優れたところだなと思ひました。また、光村図書は、3年生の風神・雷神のところ、あるいは2、3年生の和紙でできている日本画の資料、これは雰囲気が出ていていいなと思ひました。現場の声として出ているのですけれども、別冊の資料、これは現場としては非常に使いやすいという意見がかなり出ていましたので、光村図書を学校としても選んでいく一つの根拠になっているのかなと思ひました。いずれにしても、どの教科書会社も非常にきれいな作品がたくさん載っているのです、美術を楽しむ、見て楽しむという視点はクリアされているのかなと思ひました。特に美術は生涯学習の観点からでもいい作品にたくさん触れるということが非常に大事だと思いますので、どの会社も工夫されているなと思ひました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 私もどの教科書も本当にすばらしい作品だな、どれを取ってもいいのではないかなと思うのですけれども、開隆堂は、実際に作品を作られた方にインタビューをして、「作者の言葉」という形で、イメージを最後まで再現するだけではなくて、もっと余白を大切にするであるとか、そういう形でのコメントが割と多く載っていて、もちろんほかのものも載っているのですけれども、光村図書は、実際の生徒さんがこんなところに着眼して、こういうふうにしたのだよとい

うことが書かれているので、実際に子どもたちは参考にしやすいのではないかなと感じました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 私も3社ともよくできていて、どれにしたらいいのだろうというぐらい迷います。デジタル教科書でもQRコード出てきたのだけれども、美術の教科書はこうやって触感というか触り心地で感じていくという、これデジタルではできないのではないかと思います。本当にこの開隆堂は表紙のところがもう触って分かりますし、それから光村図書も和紙のような材質を使ってすばらしいなと思いました。しかも、有名な作家というよりも同世代の人が作った「みんなの工夫」、その作者のインタビュー動画を見てみたのですが、すごくはきはき楽しそうに話していて、芸術家を書いたというよりも同世代の人がどうやって表現したのかと、共有していくような教科書になっていて感動しました。すばらしいなと思いました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 他にないようですので、これより美術の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、渡辺委員、野口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価の合計を読み上げます。

9番 開隆堂出版 24点

38番 光村図書出版 30点

116番 日本文教出版 20点

以上のとおり、美術の教科用図書は、38番、光村図書出版を採択することに決しました。

次に、特別の教科道徳の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

伊藤選定委員 7社ありますので、私からは1内容（2）現代的な課題などの題材を教材として取り上げる工夫と、（3）発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫について、主に1年生の教科書を使ってご説明させていただきます。

はじめに、東京書籍です。現代的な課題についてですが、目次、「いじめのない世界へ」と「命を考える」として、それぞれ3つの教材を組み合わせたユニットになっています。それぞれのテーマについて学習するように構成されており、様々な角度から多面的、多角的に考えられるようになっています。また、いじめ、生命尊重、情報モラル、自己肯定感を育む教材は、資料に最適な時期を考慮し、各学年同時期に取り上げ、開始されています。SDGsに関しては、巻末付録で取り上げています。全学年でコラムが充実しており、教材と関連させて進化、拡充できる工夫が見られます。また、ねらいを達成する工夫としては、読み物教材に加えまして、写真や挿絵などのビジュアル的な素材から考える教材、例えばいじめに関して22ページでは漫画を活用した教材、29ページ、グラフから考える教材として、115、116、117ページなど多様な教材があり、提示方法が工夫されています。また、各教材末には「ぐっと深める」という問いを設けて「考えよう」、「見つけよう」の発問をさらに深く考えるための工夫があります。

続いて、教育出版です。現代的な課題についてですが、2、3ページの目次、「いじめをなくそう」、「つながりあって生きる」、「いのちをかがやかせる」という大きな3つのユニットを複数の教材等からも組み合わせてそれぞれ設定し、現代的な課題について繰り返し考える、問題の本質を多面的、多角的に深めていく工夫が見られます。また、3年間を通していじめや差別を様々な側面から考え、深めていけるように各学年にバランスよく配置されています。ねらいを達成する工夫としては、1年では身近な生活場面の出来事から考える、2年では中学生活に慣れてきた時期の行動を見直す、3年では義務教育を終える学年としてこれからの在り方を考えるなど適切な教材が配置されています。写真、絵本、漫画など内容が理解しやすい教材で、読むことに時間を取られず深く考えられるような工夫があります。8、22、138ページに漫画を活用した教材があります。

続いて、光村図書です。現代的な課題としましては、2、3ページ、目次をご覧ください。人権については、全学年「教材＋コラム」のユニット形式になっています。「いじめ」に関しては、

学級形成の早い段階でユニットを設定し、時間をかけて考えられるようになっています。ユニットの3つ目には「まなびをプラス」を配置して、自分ごととして問題を捉えられるような工夫があります。いじめユニットの他にも年間を通していじめに関連した教材を配置しています。「情報モラル」に関しては発達段階に合った問題を系統的に取り上げ、考えを深められる工夫が見られます。学年ごとバランスよく配置されていると考えます。また、ねらいを達成する工夫に関しては、ユニットごとのテーマを持った構成となっています。視覚的に興味・関心を喚起する漫画形式の教材、例えば23、28、85ページ等から、ケーススタディー、昔やったことを題材にしながら考えていく、こういった考える教材など生徒が引き込まれ、自ら考えようとするための工夫が見られます。また、「やってみよう」というコーナーが各学年2回組み込まれており、対話しながら考えを深めていく楽しさを味わえる工夫があります。

続いて、日本文教出版です。現代的な諸課題としましては、2、3ページ、目次、いじめと向き合うユニットを、各学年いじめが起きやすい時期に複数配置しています。いじめを直接的に扱った教材と間接的に扱った教材の両方で重点的に構成しています。さらに、いじめに関するコラム、知識を深めるものとスキルを身につけるものの2段構えで構成し、多面的、多角的に考えられるよう工夫されています。そのほか、多様性の尊重やSDGsなどの現代的課題に関わるユニットや教材やコラムも多数掲載され、生徒の意欲を引き出すための工夫が見られます。また、ねらいを達成する工夫としては、系統的、発展的に学習できるよう各学年のテーマが設定されています。例えば1年では「であう」、2年で「みつめる」、3年では「ひらく」という形です。また、「学びを深めるヒント」で、より効果的な議論の方法が示され、議論を深める工夫があります。身近な人物から先人までの心の揺れやそれを乗り越える強さなど多様な生き方が扱われ、深く考える工夫があります。16、66ページに漫画を使い、154ページに写真やイラストでイメージしやすくするような工夫もあります。また、教科書の二次元コードから呼び出せるデジタルコンテンツが使いやすいもののようにです。

続いて、学研です。現代的な課題として4、5ページ目次に全学年で生命の貴さを学ぶ教材を3つずつ配置し、生命や人権を重んじ、多様性を受け入れながら他者とともによりよく生きることについて考えられる工夫があります。また、現代的課題に関するテーマをマークにしてタイトル下部に配置し、生徒が身の回りの課題とつなげながら主体的に学ぶことができるようにしています。さらに、「SDGs」、「多様性」、「キャリア」の3つのユニットがあり、複数の教材を用いて多面的、多角的に考えを深められるよう工夫が見られ、バランスよく配置されています。ねらいを達成する工夫としては、例えば46、52ページ、大きな写真を通して問題提起がされています。118ページに漫画を用いて内容に入りやすくする工夫がされています。「クローズアップ」では、中学生の短歌、これは1年生ではなかったと思うのですが、認知バイアス等を取り上げ、共感的に理解できるようになっています。また、教材の後に配置されている「深めよう」では、

4つのステップで考えを深める工夫がされています。

続いて、あかつきです。現代的な課題としましては、表紙をめくった目次、「いじめ問題」、「情報モラル」、「共生社会」、「キャリア」などの重点的に考えたいテーマをユニットにすることで焦点化し、発達段階に合わせた教材を設け、3学年で展開することで継続して学びを広げ、深められる構造になっています。また、「マイ・プラス」というページを設け、対話を通して思考を深められるよう工夫されており、多面的、多角的に考えを深められる工夫が見られ、教材がバランスよく配置されています。ねらいを達成する工夫としては、「Thinking」というコラムページが各学年8から10本設けられており、意図的に深く考えさせることができる工夫があります。例えば14ページでは、漫画形式で問題提起がされていたり、122ページでは写真や絵を基に考えさせたりするなど、文章だけではないアプローチがあるかなと思います。また、二次元コードから写真や動画、参考となる外部資料などを見ることができ、イメージしやすい工夫がされています。

続いて、日本教科書です。現代的な課題としましては、いじめ問題ではいじめに真正面から向き合う直接教材があれば間接的に考えさせる教材もあり、特に学校生活の中でいじめに陥りやすい場面を取り上げています。そのほか、情報モラルや人権、LGBTQや多様性、環境資源、生命尊重、国際貢献、国際理解、キャリア形成などの様々なジャンルの現代的課題の教材が多数掲載され、生徒の意欲を引き出すための工夫があります。また、巻末にあるウエルビーイングカードの活用により多面的、多角的な考えを深められる工夫が見られます。ねらいを達成する工夫としては、例えば36ページをご覧ください。哲学者の格言に触れながら自由、幸福、愛など深い内容を扱い、考えを深める工夫があります。7ページ、各章の見出しには4コマ漫画でテーマ性を打ち出しています。同じく41ページ、各章の見出しには4コマ漫画でテーマを出しています。32、78ページには漫画形式の教材を配置し、92ページのようにグラフから考えさせりするなど、文章だけで考えさせるのではないアプローチをすることで、深く考えることができるような工夫がされています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。ご質問ございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員としてはどの教科書を推薦しますか。

石塚選定副委員長 選定委員会では、調査報告書、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見などを参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が7種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票しました。65点が満点となります。その結果ですが、2番、東京書籍45点、17番、教育出版44点、38番、光村図書43点、116番、日本文教出版44点、224番、学研60点、232番、あかつき教育図書29点、233番、日本教科書29点でした。

本選定委員会としましては、点数の多かった順に、60点の学研、45点の東京書籍、44点で同点の教育出版、日本文教出版を推薦いたします。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選定委員会ではどのような話題が出ましたでしょうか。

伊藤選定委員 選定委員会では、大きく2つの話題が出ました。

1点目は、物事を多面的、多角的に考えさせるために各社でどのような工夫があるかということです。

2点目に関しては、現代的な諸課題について各社必ず取り上げており、とりわけ命や人権について取り上げ方の工夫が見られるということが出ました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 学校の調査報告書ではどの教科書会社の推薦が多かったのか。また、その主な理由について教えてください。

伊藤選定委員 学校からの推薦では、学研を推薦する学校が最も多く15票、次いで東京書籍、教育出版、日本文教出版が2票、光村図書、日本教科書が1票という結果でした。

推薦理由としましては、学研では、現代の課題とリンクさせた題材が多く、問題意識が高まるような工夫がされている。1つのテーマを多面的、多角的に学ぶユニット学習を取り入れて広い視野で考えを深められる。

東京書籍では、小学校で扱われる教材を付録として掲載するなど、学習意欲を喚起する工夫がある。心情円がついていて気持ちが視覚的に理解できる工夫がある。

教育出版では、現代の課題や議論が活発になるような議題があり、親しみを持って取り組めるような工夫がある。教材の配置の仕方や資料の使い方に生徒の理解を助ける工夫がある。

日本文教出版では、授業用にプリントを作成せずとも活用できるシートが組み込まれている。動画等が活用しやすい。

光村図書は、内容のレイアウトが見やすい。

日本教科書では、ウェルビーイングカードがほかの教科書にはない取組で、多様な価値観を引き出せる、等の意見がございました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 特別の教科道徳ということで、この道徳趣旨や理念の実現を図るためには

「考え、議論する道徳」の授業づくりが求められると思いますけれども、「考え、議論する道徳」に向けどのような工夫があるか、ご説明いただければと思います。

伊藤選定委員 考え、議論するということは多面的、多角的に考えるということと非常にリンクしています。多面的、多角的に関しては、大きく2つの捉え方があると思います。1つは、例えばAの視点、主に自分自身に関することについて、同じ教科書の中に何種類か教材があって、自分自身に関することへのアプローチの仕方を何種類か学ぶことができるという捉え方、それからもう一つは、授業の中において友達のような意見や考えを知ることによって多面的、多角的に考えるという捉え方です。道徳の授業の一般的なプロセスとして、1授業時間の中ですけれども、自分の価値観、気持ちとか考えを確かめる時間としての人間理解の時間、そして次に友達の意見や考えを聞いて様々な考え方に触れる時間である他者理解の時間、そして最後に、よりよい考え方を見つける自分の生き方につなげる価値理解の時間というプロセスがあります。つまり、多面的、多角的な考え方に触れるためには話し合い、考え合う活動、これはロイロノート等でも意見を吸い上げるという部分も含まれるのですが、そういったものが活発に行われることが大前提になると考えています。授業者の指導力に一番かかってくる部分でもあるのですけれども、またそういったところでも登場人物の考え方の変容に触れることも自分にとっての多面的、多角的な見方につながると考えています。

そういった観点から、私からは1番目として、AからDの視点ごとに何種類の教材があるのか、2番目として、教科書や付随資料によって話し合う活動がしやすくなるか、という点でご報告させていただきたいと思います。全て1年生の教科書を使わせていただきます。

はじめに、東京書籍です。1番目としては、Aの視点で8つ、Bの視点で8つ、Cの視点で15、Dの視点で8つ教材があります。2番目としては、4ページ「道徳科とは」というコーナーでは、道徳の学び方が載っており、話し合いのポイント等が分かります。また、10ページ、自分の考えたことを記録できる「つぶやき」が設けられています。これは10ページに限ったことではないのですけれども、「考えよう」や「見つめよう」が各教材に設定されています。考えるための柱立ての一助になっていると思います。さらに、「ぐっと深める」という見出しで話し合いのヒントになるものがあります。他にも巻末の付録や二次元コードの中に心情円があります。気持ちの揺れ動きを表現できるものなのですけれども、そういったものを活用できる工夫が見られます。40ページの二次元コードは全ての教材にあり、朗読音声、映像、デジタル心情円、ワークシートなど生徒の学びに合わせた教材提示ができるよう工夫されています。デジタル心情円については、全ての教材に配置されているわけではありませんでしたが、ほかの教材のものを使うことは可能かなと感じました。13ページ「Plus」のコーナーでは、道徳で学習したことを広げたり深めたりすることができるコラムが設けられています。38ページ「Plus」では役割演技ができるようになっており、より自分ごととして捉えられるよう工夫されています。

続いて、教育出版です。1 番目としては、A の視点が 8 つ、B の視点が 8 つ、C の視点が 12、D の視点が 7 ありました。2 番目として、4 ページ「さあ、道徳をはじめよう！」のコーナーでは、話合いのポイントと学び方が載っています。11 ページ、教材ごとに「学びの道しるべ」が設定されており、教材を基に自分の考えを持ち、深めたりみんなで話し合ったりするための問いになっています。26 ページには、学びを広げたり深めたりする広場があります。63 ページ、直前の教材に関連した活動のページとして、「やってみよう」があり、役割演技を通して学びを深めることができます。二次元コードが全ての教材にあり、主に教材解説を見ることができます。中には心情メーターがついているものもあります。なお、指導者用のデジタル教科書と学習者用のデジタル教材には思考ツールや心情メーターがあったかと思います。

続いて、光村図書です。1 番目としては、A の視点が 7 つ、B の視点が 7 つ、C の視点が 13、D の視点が 8 つありました。2 番目としては、6 ページ、「道徳の学習を始めよう」のコーナーでは、話合いや考え方のポイントなど学び方が載せられています。14 ページ「考えよう」という通常の手引に加えて、教材によって見方を変えてという問いや「つなげよう」という問いがあります。38 ページに、自ら問いを立てて考える「チャレンジ 問いを立てよう」が設定されています。これは、生徒が道徳的価値からぶれずに問いやすい教材で考えることができるものになっています。70 ページ「チャレンジ 演じて考えよう」では、役割演技を行うことによって考えを深められるようになっています。32 ページ「やってみよう」では、友達と対話しながら考えを深められる手だてを載せてあるなど物事を多面的、多角的に捉えたり考え議論したりするときに役立つようになっています。二次元コードは全ての教材についているわけではありませんが、様々なデジタルコンテンツは学習者用のデジタル教科書及び学習指導書附属の指導者用のデジタル教科書についているようになっています。

続いて、日本文教出版です。1 番目としては、A の視点では 7 つ、B の視点は 7 つ、C の視点は 14、D の視点は 8 つありました。2 番目としては、4 ページ「道徳科での学びをはじめよう」のコーナーでは、話合いのポイントなど道徳の学習の仕方が掲載しています。8 ページ右上の「夢に向かって」と書いてありますが、教材ごとにこのような学びのキーワードがあり、話し合う方向性が意識づけられるようになっています。他にも 11 ページ「考えてみよう」というねらいに迫るための問いや「自分に＋１」といった自分を見つめるための問いが設定されています。別冊の道徳ノートと併せて考え議論しながら話合いを深め、充実させる工夫が見られます。26 ページ「学びを深めよう」では、役割演技を基に考えたり体験したりしながら学ぶことができるようになっています。さらに、34、35 ページ「視野を広げて」のコラムは、道徳科と他教科、活動などをつなぎ、生き方について視野を広げるコーナーが数多く設置されています。また、全ての教材に二次元コードがあり、音声や関連資料に加えて、他社ではデジタル教科書に付随しているようなワークシートやシンキングツール、心情メーターがどの教材にもついており、この教科書から読み

込むだけで使えるのが特徴になっています。話し合いを深める工夫がなされています。

続いて、学研です。1番目としては、Aの視点が8つ、Bの視点が7つ、Cの視点が13、Dの視点が7つありました。2番目としては、8ページ「道徳科で学ぶこと、考えること」のコーナーでは、話し合いのポイントと道徳科の学び方が掲載されています。12ページ「考えよう」というねらいとなるための問いがどの教材にも設定されています。13ページには、全ての教材にあるわけではありませんが、題材に関連した「深めよう」で具体的な事例を基に学びの提案がなされています。17ページ「クローズアップ」のコーナーでは、生き方の選択肢を増やす関連情報がまとめられています。1年間で数多くの「クローズアップ」が設定されています。5ページの左下、教材によっては二次元コードがついています。コードからはどの教材にどのようなコンテンツがあるのかの一覧を見ることができます。思考ツールに関しては、違う教材のものでも使うことができそうだなというところがありました。

続いて、あかつきです。1番目としては、Aの視点としては8つ、Bの視点では7つ、Cの視点では12、Dの視点では8つありました。2番目として、2ページ「道徳科の時間は」のコーナーでは、学習の仕方や話し合いのポイントなどを学ぶことができます。13ページには、教材ごとに「自分を見つめて考える」や「考えを深める」というねらいに迫る問いがあり、考えを深めていく工夫がされています。11ページ「Thinking」のコーナーでは、教材で学習した内容を深め広げられるようなコラムになっており、数多く設定されています。16ページ「マイ・プラス」という教材を読み、活動を通して様々な視点から考えを深めるページが設定されています。二次元コードは全ての教材には設定されていませんが、動画や関連資料等を見ることができます。

続いて、日本教科書です。1番目としては、Aの視点として8つ、Bの視点で7つ、Cの視点では13、Bの視点では6つありました。2番目として、4、5ページ「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」もコーナーで、道徳授業の進め方を確認することができます。11ページには、教材ごとに「考えよう」や「深めよう」というねらいに迫る問いが設定されています。巻末付録には、この教科書の最大の特徴であるウエルビーイングカードが掲載されています。何もないところで発言するのではなく、このカードをきっかけにすることで話しやすくしたり組み合わせることで多面的に自分を見詰め直したりすることができるなど工夫が見られます。二次元コードは全ての教材にあるわけではありませんが、関連する動画や資料、外部サイトにつなぐことができます。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 選定委員会には1号委員として保護者がいますが、どのような意見が出たのでしょうか。

石塚選定副委員長 保護者からは、1年を通して題材を扱う時期が工夫されている。また、自分の

在り方や自分を大切にすることということを考えられることから、現在の生徒にとって重要であるという意見が出されました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 デジタル心情円ですけれども、これは具体的にデジタルでどのように使われるのですか。

伊藤選定委員 子どもたち一人一人が今どっちに気持ちが傾いているのかというデジタル心情円を画面に映して、ロイロノートというものを使うことが多いのですけれども、子どものタブレットのものを1つの画面に集約するソフトがあるのですが、それを各教室では使っています。それを基に自分の気持ちが今どっち側に傾いているのかというのを知ることができるものになります。

渡辺委員 集計したものが出るのではなくて、一人一人のものが出てしまうのですか。

伊藤選定委員 教科書会社のソフトの設定がどうなっているのか分からないのですけれども、例を見る限りでは集約もできそうですし、一人一人のものを画面上に映すこともできそうだなと感じました。

吉田教育長 デジタルコンテンツを使う前にいろいろ工夫して、例えばカードを作ってそれで表すというのは、前々からやっていました。

他にございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

選定資料にある4つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

まず、調査の観点1内容についてご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 本市では中学校でも、最初に資料を渡して、その後話し合いたいところを子どもたちが意見を出して、それから話合いの柱に沿って進めてまとめていくというパターンが多いかなと思っているのですけれども、そのことを考え3つの観点で教科書を見てみたのですけれども、1つは主題名、2つ目は話合いの柱、そして3つ目としては書く活動について眺めてみたのです。主題名につきましては、例えば光村図書は思いやり、感謝とかということが書いてあります。日本文教出版も短い言葉で主題に迫るような感じなのですかね。お互いの立場の理解とか挨拶の大切さとかが書いてありました。教育出版では、礼儀とはどのようなものだろうとかということで主題に迫るような問いがある、あかつきは、それがなかったのかなと思いました。学研は、題名と一言ということで、これは必ずしも主題にいざなうのではなくて、内容にいざなっ

ていくような言葉がけが出ているのかなと思いました。日本教科書ではAとかBとかということ、主題の種類についてもはっきりと打ち出して最初に掲げると、東京書籍では、少し日本文教出版と似ているかもしれませんが、短い言葉で主題に迫るような、例えば「公共の精神とは」ということでいざなうような形を取っているということが分かりました。現場からすると、学研のほうがいいのではないかという意見が多いようですので、あまり主題がはっきり出るものについては、本市としては、現場としてはそんなにそこは重要視していないのかなということが分かりました。

次に、話合いの柱ですけれども、これは会社によっていろいろな言葉はありますけれども、2つか3つ程度は各社とも出しているなという印象でした。指導力があれば話合いの柱は先生と生徒で決めていくということもできるのだろーと思うのですけれども、例えば新任の先生でもそこを押さえておけば道德のねらいに達することができるよということであつたほうがいいのかなと思いました。

最後に、書く活動につきましては、その効果を考えて各社ともところどころ入れているなという印象でした。必ず書くようにするということもあるようですけれども、必ずということでは、形式的になってしまい、あまり議論することにいかなくて困ってしまうのかなと思う部分もありました。総合すると、現場としては今まで使っていた学研がいいのかという意見が多いのかなと私は感じました。また、恐らく場面とか教材とかそういうものにつきましてもかなり蓄積もありますので、今までどおりのほうがいいのかなという、そんな印象を持ちました。

吉田教育長 ただいまの意見についてでも構いませんが、何かご意見ございますでしょうか。

なければ、私からですが、例えば学研の3の182ページです。私は少し読んでいていいなと思ったのは、「亡き母へのトランペット」という資料ですけれども、自分が読んでいて感動できるような資料、こういうものが一番使いやすく子どもにも伝えやすいと思います。このような資料、教材については、どの会社も載せてあるわけですが、しかしながら教師の思いが先行し過ぎると、どうも先生の心に自分の考えを寄せてしまい、考えが深まらないというようなことが起こりがちです。特に高学年、中学生になるとそういうことが起こりがちですけれども、そうならないよう学習者に自分ごととして考えさせるなどして道徳的な価値に気づかせ、道徳的心情、これを育てるよう流れをつくる必要があるわけですが、この点についても学研では182ページの右下に「母が好きだった曲」とあるように、教材冒頭では教材への関心を書き立てるようなキーワードを記載するにとどめて、主題名はどこに書いてあるのかというと、裏表紙のすぐ裏側なのですが、ここにまとめて記載しているのです。表になっていて、上の方に学習指導要領の内容の教材、主題名が書かれてあります。このようにわざと離れたところに記載しておいて、教師がこれを見ればいいようにして、子どもがこういうのを目にしてしまうと、先ほどのように教師の、これはこういうふうな主題でやっているのだからこうなのだろうと寄せてしまうようなところがあると、深

まらないということがあるからです。こういうところも一つの工夫かなと思います。学習者が主体的に考えて意見交換できるような配慮をしているというようにところだろうと思います。

いずれにしても、先ほど野口委員からもありましたように、授業を進めるに当たっては資料分析というのをやっているわけですが、こうした資料分析が進んでいるといたないとでは深まり方が違ってくるかと思います。例えば同じ道徳をやるにも何回も同じところをやるよう学年で工夫をしています。何回かやることによってその教材に対する理解が深まってくると、道徳の資料としてもかなり深まった授業を実際に行うことができるというところにつながると思うのです。したがって、今まで積み重ねを活用するという観点で言えば、どれだけ同じ資料が使われているかについても見ていく必要があるのかなと思っています。

その点は、学研は現在使用しているので、教材と共有できる、そういう使用している教材と共有できる教材が各学年30前後掲載されております。こうしたことから、報告書では学研の教科書について、以前の教材研究を生かして進められるので安心感がある、あるいは学習意欲を喚起する工夫がある、見やすく使いやすいなどのコメントが多いように思われます。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 それでは、他の観点、2から4についての観点については、まとめて協議することといたします。

ご意見等ございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 日本教科書、学研、東京書籍もメモという形で、教科書に直接書き込むことができるところがあって、読んでいて自分が感じたことを書いてみたりするのにいいかなとは思うのですが、例えば中学生ぐらいだと忘れてしまったら隣のクラスに行って友達の教科書を借りるときに、ここに書いてあると貸せなかったり、やはり書かないということがあるのかもしれないなと思ひまして、その点、日本文教出版は別に道徳ノートがありますし、全ての題材に対して書けるようになっていて、いいなと感じました。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより特別の教科道徳の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により行い、私及び5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものを採択いたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、東委員、足立委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

投票結果については、発行者の番号順に、発行者番号、発行者名、評価点の合計を読み上げます。

2 番	東京書籍	2 4 点
1 7 番	教育出版	2 2 点
3 8 番	光村図書出版	2 2 点
1 1 6 番	日本文教出版	2 3 点
2 2 4 番	Gakken	3 0 点
2 3 2 番	あかつき教育図書	1 6 点
2 3 3 番	日本教科書	1 5 点

以上のとおり、特別の教科道德の教科用図書は、224番、Gakkenを採択することに決しました。

次に、特別支援教育に係る教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のため、選定委員の入室を求めます。

〔選定委員入室〕

吉田教育長 選定委員より選定資料の説明を求めます。

木野内選定委員 特別支援教育の教科書は文部科学省が著作なので、様々な障がいを持つ生徒の実態に合わせて使用できるかどうかということをお決めいただくことになると思います。国語、数学、音楽については、前回の教科書選定から内容が変わっていませんので、観点1内容を中心に簡単に説明させていただきます。本年度新たに発行された社会、理科、職業・家庭については、観点ごとに説明させていただきます。どの教科も星4つ、星5つの2種類がございます。

はじめに国語です。1内容では、日常生活に関わる身近な場면을例にとってセリフ口調で表現

され、例が具体的に示されているので、伝えることに苦手意識がある生徒でも扱いやすい内容となっています。自分の考えを正確に伝えられるようにポイントが明確に示されています。星5の116ページ、内容で「まちの新聞を作ろう」という項目がありますが、表現する力が向上するように、また発展性のある内容になっています。実体験に即してイメージしやすく、ポイントが明確に示してあります。他の教科、領域との関連も図れるという工夫が見られます。また、読み物教材、題材については、星4では標識や水道、星5では学校図書館やスーパーマーケットなど生徒が生活していく上で必要不可欠なものの内容が示されています。

続いて、数学です。1内容では、教室にあるものの長さを測る、あるいは計算問題で買物の場面を想定させ、星5の発展的なものになると卵やサッカーボールを用いて円と球の学習に役立っています。全体としては日常生活の場面を取り上げて、学んだことをこれからの生活に生かすことができるよう工夫されています。星4の教科書の130ページには、つまずきやすいものとして時刻と時間の項目があります。また、つまずきやすいものとしては小数の項目などもあるわけですが、これらについてはストップウォッチやバスの時刻表、または温度計や靴の大きさなどを例に挙げ、生徒が分かりやすくイメージできやすいように具体例を挙げています。全体としては複雑な問題が少なく、挿絵や写真を用いて穴埋め問題が多く設定されていて、数学に苦手意識のある生徒も安心して取り組めるような内容になっています。

続いて、音楽です。1内容では、星4の18ページをご覧ください。その場でできる手拍子リレー、この後には「パプリカ」といった体を使ったダンスなど、歌うことに苦手意識のある生徒も楽しめるような内容で構成されています。動きを考えて表現する活動も多く取り入れられており、全体として歌うこと以外にも音楽が好きになるよう様々な内容で構成されていて、歌詞や曲調に合わせた挿絵や写真も豊富に用いられています。また、国民に広く親しまれ歌いやすい曲が多く紹介されており、前半ではリズム遊びや歌など簡単に踊れる曲、イラストに合わせて音楽を楽しむ内容が多く、後半では楽譜のページがメインとなり、難易度の高い合奏曲や合唱曲が取り入れられ、学習段階が工夫されています。

続いて、社会です。1内容ですが、星4の36ページをご覧ください。図書館の使い方について、その後には電車の乗り方について、さらには障害者手帳等について触れており、電車、バス、運賃の割引、公共施設料金の割引の内容が分かりやすくまとめられています。また、星5の教科書では「役割」と「責任」ということで、6ページに示されています。「役割」には家庭の役割、学校での役割、地域での役割が触れられています。ここから後ろのページに進むに従ってそれぞれの役割が詳しく説明され、社会性をより意識した内容になっています。

次に、2資料についてです。星5の5ページにマークの説明がされています。このマークは、ページごとにどのような学習に取り組むかが明記されていて、効果的な学習につなげられるようになっています。星4では埼玉県各市町村がまず書かれていて、これが星5の96ページ、ここか

ら埼玉県 naturally、農業、交通等が詳しく書かれていて、自分の住んでいるまちや埼玉県のよさを考えることができるように工夫されています。

次に、3 表記・表現についてです。「公共施設を利用する約束」では、何々しないという注意書きではなく、何々するというように行動を明確にする表現が特徴的です。

4 総括としては、身近な生活から徐々に視野を広げ、無理なく地域社会や世界へ目を向けることができる構成となっています。また、小学校の生活科や中学校の社会科との連続性や他教科との関連も意識したつくりとなっています。さらに、責任や社会生活に必要な決まりを学ぶことで、よりよく生きるために何を学習すればよいのか分かるように工夫されています。

続いて、理科です。1 内容では、星4の6ページの校庭での生き物探しから、この後、動植物、動物が仲間分けされている10、11ページに結果として書かれています。さらに、この後には「植物を育てよう」、「昆虫を育てよう」という単元が配置されています。植物や動物の特徴や育ち方が学べるようになっていきます。そして、これを受けて、星5では春夏秋冬の季節を通して観察が計画されています。植物や動物への興味関心を高めています。全体として実験観察の内容が多く計画され、より実感の湧く学習ができるよう工夫されています。

2 資料についてです。星4、星5の本とともに植物や生き物の写真が多く使われており、色や質感を読み取れるようになっていきます。また、QRコードを使って生徒が持つタブレットから検索できるようになっており、効果的な学習になるよう工夫されています。

3 表現についてです。液体や水蒸気など意味が理解しやすいように図を用いて視覚的に簡単な言葉を用いて説明しています。

総括としては、星4、星5の本とも生活科との学習との関連を考慮しながら理科の学習の基盤となる体験の充実が図られています。特に星4では、複雑な事物や現象を比較し、その差異や共通点に生徒が気づけるような工夫がされています。星5では、既習の内容や生活経験を基に予想を立てたり疑問を新たに課題につなげたりしながら問題解決の力が高められるような構成となっています。

続いて、職業・家庭です。1 内容についてですが、星4、星5の本ともに作業学習やふだんの生活を取り巻く環境から働くということを通して自然と想起させる流れとなっています。また、星4のほうでは余暇の楽しみ方や困ったときの相談先などが示されています。星5の15ページに「働く」、「生活を支える社会の仕組み」ということでいろいろなことが紹介されています。家庭科の分野においては、星4、星5も自分の成長と過程、家庭生活と役割を学び、生徒自身の生活や成長を振り返りながら家庭における役割や社会とのつながりを学べるような内容になっています。また、余暇についても学ぶことで心身共に健康に暮らす大切さや社会とつながり生活を充実させる大切さを知ることができる内容となっています。

2 資料についてです。星4の58ページから63ページをご覧ください。「おいしく楽しい調理を」

ということで進んでいくわけですが、ここでは調理の手順を番号と絵で具体的に示されており、見通しを持って取り組めるように工夫されています。そして、星5の62、63ページ、調理には食材というものが大事になってくると思うのですが、ここにはコピーでしかありませんけれども、実際の教科書には中学生の1日に必要な食品を実物大で示しており、質的にも量が分かるように工夫されています。

3表記・表現についてです。星4、星5ともに生徒が考える部分の例文の書体が変わっており、生徒の考えとして表現されています。

総括としては、実際の家庭生活や将来の職業生活に直接関わる調理の基礎、衣服の着用や手入れ、身近な消費生活、作業や産業現場等における実習など具体的内容がバランスよく取り入れられています。また、総合的な学習で学ぶコンピューターの内容や社会科で学ぶ職業、理科で学ぶ植物の栽培等、他教科との関連が意識できるよう工夫されています。

吉田教育長 これより質疑に入ります。

各委員の質問に続いて選定委員の回答を求めます。

特別支援教育の教科用図書全般あるいは教科に関する質問はございますか。

東委員。

東委員 ご説明いただいた文部科学省著作の特別支援学校中等部用教科用図書の採択について、選定委員会としてはどのような意向かということをお聞かせください。

石塚選定副委員長 選定委員会では、教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員13名が教育委員会に推薦するかしないかについて記載し、無記名で投票いたしました。その結果、13名全員一致で推薦することに賛成となりました。

文部科学省が編成しております知的障害特別支援学校用の国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭の教科用図書を活用することは、特別支援学級においても妥当だと思われます。

吉田教育長 妥当だということでよろしいですね。

石塚選定副委員長 はい。

吉田教育長 よろしいですか。

山口委員。

山口委員 現在、越谷市の中学校で、この文部科学省著作の特別支援学校中学校用教科用図書を使用している学校はございますか。

木野内選定委員 今年度中学校では星4つの教科書を使用している学校が特別支援学級設置校14校のうち2校ございます。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

足立委員。

足立委員 選考委員会で出た話題はどのようなものがありましたでしょうか。

木野内選定委員 特別支援教育において、星の数の違いについて話題が出ました。星の数が増える
と使う知識や技能などのレベルが高くなり、新たな教科を含めて系統的な内容になっていますと
いうことで答えました。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 特別支援教育においては、生徒の生活との結びつきが重要だと思いますけれども、日常生活との関連についてはどのような工夫がありますか。

木野内選定委員 どの教科でも実生活の場面を想定した内容、具体例が示してあります。特に職業・
家庭ではふんだんに盛り込まれています。

吉田教育長 よろしいですか。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 選定委員には1号委員として保護者の方がいらっしゃると思いますが、どのような意見
が出ましたでしょうか。

石塚選定副委員長 保護者からは、個人によって星本の教科書を使うかどうかが決まるため、星本
を使用する生徒も、場合によって途中から発展的な内容を扱うなど個に応じた指導ができるとよ
い、というご意見が出ました。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 実際には途中から星本を使うことも可能なのですか。

木野内選定委員 実際には星本を使うことは、教科書は1人1冊なので、使うことができません。

特別支援教育の学級があるところでは、研修等の費用で教科書を買って、それを参考に教材を作
成したり、プリントを作成したりという対応をしています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、質疑は以上といたします。

これより協議に入ります。

特別支援教育に係る教科用図書は、国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭を一括して審
議いたしますので、ご意見をお願いいたします。よろしいですか。特にございますか。

私からですが、繰り返しになりますけれども、特別支援教育の知的障がい教育にあっては、生
活的自立度基礎を培うことが大切ですので、子どもたちが自立し、社会参加できるよう自立的な
生活に必要な事柄を体験的、实际的に学ぶという、いわゆる領域と教科を併せた生活学習や作業
活動を中心にしながら働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を学習する、い

いわゆる作業学習をすることがございます。その点に配慮して、この教科用図書では学習を進める上での手がかりが具体的にかつ身近な題材が取り上げられています。

例えば、星4つの国語の38ページから45ページにはいろいろな標識、表示というのが出てまいります。このような標識を理解することが生活をする上で大切なことになるわけですが、こういったものを扱っているということになります。88ページから91ページでは実際に「手紙を書こう」から始まるわけですが、社会で役立つ内容が取り上げられています。こうしたことから、使用実績もあり、採択しておく必要があると考えています。

星5つ数学においても国語の教科用図書と同様の配慮が見られます。例えば56ページの真ん中で「作業学習で作った皿が45枚あります」と「作業学習」という言葉が出てきます。作業活動をこのように想定した問題が出ています。62ページでは「販売会の準備をします」として、野菜を5個ずつ袋に入れると何袋になるかといった問題が用意されておりまして、具体的なものを示したり具体的な場面設定をしたりして実際の生活に即して計算できるようにしています。

いずれにいたしましても、星本の採択に当たっては、たとえ主たる教材として使用しない場合でも、採択しておかないと使用できないということになるので、使用可能な状態にしておく必要があると思います。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 今回、社会、理科、職業・家庭が加わったということで、大変いいことだなと思いました。特に社会科では星4、施設とか乗り物、火事とか警察の仕事、あるいは町や市についても取り扱っていただいていて、社会性を身につけるのには非常に大事だなと思いましたし、社会の星5では、114ページに能楽も出ていて、越谷市にはぴったりだなと思いました。理科にしても、星4の63ページには、太陽と地面が出ていますけれども、ちょうどこの暑い日が続いていますけれども、日傘とかクールスポットについても取り扱っていて、どういうふうな行動を取ったらいいのかということも学ぶことができるのではないかなと思いました。職業・家庭の星5の14、15ページは、こういったことをしっかり知識として身につけておくことが大事かなと思いました。保護者の皆様もこういうのを見て安心できるのではないかな、中学生の今後の進路はどうなるか分かりませんが、就労ということについて、最終的な目標として考えていらっしゃる方が多いと思いますので、こういった情報をきちんと載せておくということも大事かなと思います。教育長からもお話がありましたけれども、採択しない理由はないと思いますので、採択できればなと考えております。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 今回初めて職業と家庭という教科書ができたということですが、逆に今までなかったのが不思議なぐらいで、例えば、星5の将来の自立と職業のこと、星4もの家庭科のこの内

容を見てみますと、本当にこの教科書ができてよかったなと思いますし、やはり採択は必要だなと実感しました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ないようですので、これより特別支援教育の教科用図書に係る採択に入ります。

特別支援教育の教科用図書については、文部科学省著作の教科書のみになりますので、国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭を一括して採択いたします。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

吉田教育長 採択は無記名投票により、可とする場合は「○」を、否とする場合は「×」を記入し、多数決により「○」が過半数を超えた場合、採択するものといたします。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

吉田教育長 次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

吉田教育長 それでは、順次投票をお願いいたします。

〔順次投票〕

吉田教育長 投票漏れはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 投票を終了いたしました。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たり、立会人として、渡辺委員、山口委員を指名いたします。

〔立会人立会いの上開票〕

吉田教育長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

推薦する、可ということでございますけれども、可6票、推薦しない、否ということでございますが、否ゼロ票でございました。

以上のとおり、可が過半数を超えましたので、特別支援教育に係る教科用図書については、採択することに決しました。

以上をもちまして、予定していた全ての種目について審議が終了いたしました。

これにより第37号議案を採決いたします。

採決する教科用図書を種目名、発行者名の順に読み上げます。なお、発行者番号及び教科用図書名については省略いたします。

国語、光村図書出版。

書写、光村図書出版。

社会・地理的分野、東京書籍。

社会・歴史的分野、東京書籍。

社会・公民的分野、東京書籍。

地図、帝国書院。

数学、東京書籍。

理科、学校図書。

音楽・一般、教育芸術社。

音楽・器楽合奏、教育芸術社。

美術、光村図書出版。

保健体育、Gakken。

技術・家庭、技術分野、開隆堂出版。

技術・家庭、家庭分野、開隆堂出版。

外国語、三省堂。

特別の教科道徳、Gakken。

特別支援教育、国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭を採択いたします。

なお、特別支援教育の国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭の教科書については、いずれも文部科学省著作でございます。

以上の教科書を採択する旨、決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は以上のとおり決定いたしました。

他に何か協議するような内容等はございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時でございますが、8月22日、木曜日、午前10時から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 これをもちまして、閉会といたします。

ありがとうございました。

(午後 5時37分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

渡 辺 律 子

委 員

山 口 文 平

委 員

東 宏 行

委 員

足 2 夢 児

書 記

教育総務課調整幹 鈴木 理香